



社会福祉法人 足立邦栄会

令和6年度（2024年度）事業報告



《法人本部／経営会議》

〈総括〉

1. 理事会・評議員会の開催状況

令和6年度は、法人の意思決定機関である理事会および評議員会を、定款および定款細則にもとづき適正に開催し、組織運営の透明性と正当性を確保しました。定時理事会および定時評議員会は年3回実施され、法人の事業計画、決算報告、定款変更等に関する重要議案について審議が行われました。また、臨時理事会は年2回開催され、中和泉地域生活拠点グループホームえだまめ（東京都狛江市）の整備に関する備品購入契約および工事請負契約の変更等、急を要する案件に迅速に対応しました。

2. 令和6年度財務状況と経営体制

令和6年度財務状況は、黒字決算の報告をすることができました。法人経営の一層の安定化と効率化を目指し、毎月2回の経営会議において財務状況の分析および戦略的な意思決定を行うとともに、各ブロックにおける会議体ではPDCAサイクルを徹底し、各現場における運営方針の適正な実行とふりかえりを実施しました。これらの取り組みは、事業所間連携および協力体制の土台づくりにもつながりました。また、令和6年9月19日付で厚生労働省より発出された「協働化・大規模化等による介護経営の改善に関する政策パッケージ」では、今後の社会福祉法人経営における持続可能性の確保が強く求められており、法人としても経営の協働化・大規模化、生産性の向上に資する取り組みの重要性を認識しています。今後は国のガイドライン等を踏まえ、法人内外との連携を深化させ、より効率的かつ高質なサービス提供体制の構築に向けた組織運営をすすめていきます。

3. VISION2028

令和6年度は、法人が掲げる中長期ビジョン「VISION2028」の具現化に向けた確かな一歩をすすめるとともに、地域に根ざした社会福祉法人としての使命と責任を再確認し、その役割を一層強化する1年となりました。法人全体としては、「4つのオンリーワンチーム」を中核に据え、部門間の有機的な連携を図りながら、経営の透明性向上と意思決定の迅速化を推進し、ガバナンス体制の整備と機能強化に努めました。また、地域住民の多様化・複雑化する福祉ニーズに応えるため、新規事業の構築や既存事業の再編整備をすすめるとともに、施設環境の整備（ハード面）と専門性のあるサービス提供体制の強化（ソフト面）の両輪をもって、法人の社会的価値の向上に取り組みました。

取り組みの成果として、財務状況は堅調に推移し、持続可能な法人運営に向けた基盤は着実に強化されています。一方、急速に変化する社会情勢や福祉政策、そして、慢性的な人財確保難といった、外的環境の変化に伴う新たな課題も顕在化しています。こうした状況を的確に捉え、法人が地域社会における必要不可欠な存在であり続けるためには、従来の枠組みにとらわれない柔軟な発想と、挑戦が不可欠です。

4. 今後の取り組みと展望

当法人のサービス活動収入は、年間約14億円の規模に達し、地域福祉の基盤を支える重要な社会資源として、継続的な責任を担っています。今後も、急速に変化する地域ニーズや社会課題に対応するため、「VISION2028」に掲げた将来像を中核に据え、柔軟かつ機動的な事業運営を展開していきます。特に、施設整備や人財確保に係る大規模投資が継続するなか、公的補助金や民間助成金等の外部資源を戦略的に活用し、財務の健全性と弾力性を確保することが不可欠です。合わせて法人ガバナンスの一層の強化、説明責任の遂行、関係機関や地域住民との連携の深化を通じて、地域に信頼される社会福祉法人としての役割を果たしていきます。

1. 重点目標に対する評価

(1) 4つのオンリーワンチームの活動を軸に、法人組織体制を整えます。

設定理由・・・マネージャー職以上の管理職が、部、チームの活動実績と成果をあげることで管理職育成につながり、強固な組織体制が構築できるから。

事業計画で掲げた内容	実施状況
①法人の理事会に次ぐ最高会議体としての役割を担います。	①法人理事会に次ぐ最高会議体としての法人ミーティングを開催しました。月初に理事3名による法人ミーティングを定例開催し、各月の事業計画の進捗状況を踏まえた対応・方針を検討しました。ミーティングで合意された内容は、経営会議で審議・承認され、その後、各ブロックや部門に速やかに伝達しました。合わせて、現場からの提案や検討事項も経営会議に上申される仕組みがあり、双方向の情報共有と意思決定を可能としています。これにより、事業運営の透明性が確保され、組織全体の一体感を醸成することができました。
②ブロック運営およびサービス提供チーム、財務部、人財部、情報マーケティング部が連携し、経営マネジメントに取り組み、法人にかかわるすべてのひとたちを支えます。	②ブロック運営と横断的部門の連携による経営マネジメントの推進をしました。縦軸であるブロック運営と、横軸であるサービス提供チーム、人財部、財務部、情報マーケティング部の連携を強化し、法人全体としての経営マネジメントを推進しました。それぞれの部門において役割と方向性が明確になり、連携のもとでの実践がすすんでいます。法人にかかわるすべてのひとを支えるための体制として、着実に成果をあげており、組織運営の安定と発展に貢献しました。
③法人の事業運営の執行機関である理事会、議決機関である評議員会、評議員選任解任委員会の適切な運営、開催をすることで、組織として法人のガバナンスの強化を図ります。	③法人のガバナンス強化に向けた会議体の適正な運営をしました。法人の執行機関である理事会、議決機関である評議員会は、定款および定款細則にもとづき、適切に開催・運営し、必要な審議は滞りなく承認されています。理事会、評議員会に

	は、ブロック長、エリア長、ブロック事務長が参加し、具体的な事業運営の報告をするとともに、理事会、評議員会でいただいたご意見等を事業運営に直接反映することができました。これらの会議体の機能を着実に果たすことにより、法人のガバナンス体制の強化と、意思決定の透明性確保に努めました。令和6年度に評議員の欠員は生じなかったため、評議員解任選任委員会の開催はありませんでした。
通期評価	今後に向けて
マネージャー職以上の管理職が部門・チームの活動をとおして実績と成果を積み上げるにより、管理職の育成と組織力の向上を図り、強固な法人組織体制の構築に取り組みました。「4つのオンリーワンチーム」の活動を軸とした法人組織体制の整備は成果をあげています。事業計画にもとづく法人運営は概ね予定どおりに進行し、令和6年度の財務状況については黒字決算を報告することができ、安定した経営が継続されています。また、ブロック運営と「VISION2028」にもとづく活動は、ご利用者や職員を巻き込んだ取り組みとして継続されており、理念が一般職層にも浸透し始めています。加えて、地域活動の拡大により、外部での発表の機会も増え、法人の取り組みが外部にもひろがりを見せています。	厚生労働省をはじめとする行政からは、福祉サービス事業者に対して経営の協働化・大規模化、生産性の向上などが強く求められています。こうした社会的要請を踏まえ、法人全体として柔軟かつ戦略的に取り組む必要があります。また、中和泉地域生活拠点グループホームえだまめの建設費をはじめ、建物の大規模改修や修繕に伴う支出も継続しています。公的補助金や民間助成金等の外部資源を効果的に活用し、財務基盤の一層の安定化と持続的な組織運営の実現を目指していく必要があります。

(2) 地域に求められているハード、ソフト両面からの社会資源整備を図ります。

設定理由・・・VISION2028の活動から得られる地域情報やつながりを活用し、新規事業の計画、開設をとおし、サービス提供チーム、財務部、人財部、情報マーケティング部が連携していくことで、多様化・複雑化している福祉ニーズの具体的課題に
 応えていくため。

事業計画で掲げた内容	実施状況
① 中和泉地域生活拠点グループホームの開設（令和6年11月開設予定）	① 令和6年8月31日に建物の引き渡しを受け、11月1日に予定どおり開設しました。ご利用者は11月中に定員12名がすべて入居いただき、新しい生活を始めています。また、短期入所事業は、ご利用者の生活が落ち着き、職員のサービス提供体制構築のため、令和7年4月1日の開設に延期しました。開設にあたっては、各部門が密に連携しながら対応しました。経営会議の冒頭では

②狛江市内グループホームの計画 ③休止している認知症通所介護の再編事業の検討 ④在宅向け新規事業の検討	新規事業の進捗管理として、管理者からの報告を定例化し、課題と対応策、方針を決定しました。そのうえで、人財部が職員採用・研修を、財務部が予算管理を、情報マーケティング部がホームページや広報を、サービス提供チームが地域との連携やコラボ企画の調整を担い、部門横断で取り組みをすすめました。 ②ご利用者宅を利用したグループホーム計画は、当初11月1日同時開設で計画がすすんでいましたが、オーナー様の都合により延期となり、結果として2月1日に開設をしました。 ③認知症通所介護については、引き続き休止し、代替措置として、通所介護の定員を20名から28名へと増員したほか、生活介護においては2便制を導入しました。さらに、定員増加や医療的ケアの導入に向けた検討もすすめており、既存資源の有効活用を図りました。その結果、下半期の利用率、財務状況は堅調に推移しているため、令和7年度に、認知症通所介護事業は「廃止」する方針としました。 ④在宅分野における新規事業については、世田谷区の事業公募説明会に参加し、事業内容の検討をしました。が、ご利用者にとってメリットがないと判断し、公募の参加はしませんでした。また、近隣における土地・建物活用の可能性についても検討をすすめましたが、費用が予想を上回り断念しました。新規事業運営にはつながりませんでしたが、地域ニーズを踏まえた事業展開に向けた基礎づくりができました。
通期評価	今後に向けて
「VISION2028」の活動をとおして得た地域情報やつながりを活用し、地域の多様化・複雑化する福祉ニーズに応えるため、新規事業の計画・開設を推進しました。サービス提供チーム、人財部、財務部、情報マーケティング部の連携体制のもと、地域に必要とされる社会資源の整備をすすめました。中和泉地域生活拠点グループホームの開設では、各部門の連携による準備体制が構築され、地域とのつながりを活かした事業推進が実現できました。法人としての地域貢献の姿勢を具現化する機会となりました。	今後の新規事業の展開は、行政から発出されている「福祉サービス提供者の経営の協働化・大規模化等による介護経営の改善」を鑑み検討していく必要があります。人財不足が深刻化するなか、職員の採用、定着の推進、働き方改革も含め、法人の未来を堅実に見極めていく必要があります。今後も地域の福祉ニーズを的確に捉え、法人としての社会的役割を果たすため、新規事業の推進と既存事業

した。認知症通所介護の廃止の方針を決定しましたが、引き続き調整が必要な課題もあります。地域福祉の要請に応じた新たな社会資源の整備は、法人の中長期的な成長の要であり、今後も行政施策や地域動向を的確に捉えながら、事業展開をすすめていきます。	の再構築を並行してすすめていきます。中和泉地域生活拠点の開設を契機に、法人全体の資源活用を最大化し、サービス提供の質と幅を広げていくことが求められます。部門間の連携と外部との協議を重ねながら、より持続可能な事業構築を目指します。
--	--

2. 活動報告

(1) 実施状況 理事会

日付	活動(会議)名	内容
4/23	臨時理事会（第1回） 方法：書面	・（仮称）中和泉グループホーム計画新築工事に伴う備品等購入契約の件
6/1	定時理事会（第2回） 出席：理事6名 監事2名 事務局2名 方法：Zoom・対面	・令和5年度事業報告、計算書類及び財産目録の件 ・令和5年度決算にかかわる前期末支払資金残高の取崩し、施設整備等積立金の取崩し、および施設整備等積立金の件 ・令和6年度第一次補正予算の件 ・狛江市猪方3丁目共同生活援助（グループホーム）事業者指定申請の件 ・給与・退職金規程及び有期契約職員就業規則の一部変更の件 ・運営規程等の一部変更の件（足立ブロック） ・定時評議員会招集の件
8/17	臨時理事会（第3回） 方法：書面	・（仮称）中和泉3丁目グループホーム計画新築工事請負契約変更の件
11/2	定時理事会（第4回） 出席：理事6名 監事1名 事務局2名 方法：Zoom・対面	決議事項1 ・定款の一部変更の件（基本財産の増加） 決議事項2 ・令和6年度上半期事業報告の件 ・令和6年度第二次補正予算の件 ・独立行政法人福祉医療機構による基本財産抵当権設定及び解除の件 ・狛江市猪方3丁目共同生活援助（グループホームやまぼうし）事業開始延期の件 ・運営規程等一部変更および制定の件（多摩ブロック） ・給与・退職金規程、有期契約職員就業規則および就業規則の一部変更の件（7/1理事長先決にもとづく規程の変更） ・経理規程の一部変更の件（サービス区分追加）

		・石川県能登半島沖地震に係る災害義援金寄附金の件 ・臨時評議員会招集の件
3/15	定時理事会（第4回） 出席：理事5名 監事2名 事務局2名 方法：Zoom・対面	・令和6年度 第三次（最終）補正予算の件 ・令和7年度事業計画（案）、当初予算（案）の件 ・認知症対応型通所介護事業廃止の件 ・運営規程の一部変更の件 ・就業規則等の一部変更の件 ・令和7年度 公益事業受託契約の件 ・令和7年度 送迎業務委託契約の件 ・令和7年度 施設管理業務委託契約の件 ・臨時評議員会招集の件

（2）実施状況 評議員会

日付	活動(会議)名	内容
6/22	定時評議員会 出席：評議員5名 理事3名 事務局2名 方法：Zoom・対面	・令和5年度事業報告、計算書類および財産目録の件 ・令和5年度決算にかかわる前期末支払資金残高の取崩し、施設整備等積立金の取崩しおよび施設整備等積立金の件 ・令和6年度第一次補正予算の件 ・狛江市猪方3丁目共同生活援助（グループホーム）事業者指定申請の件
11/16	臨時評議員会 出席：評議員4名 理事3名 事務局2名 方法：Zoom・対面	決議事項1 ・定款の一部変更の件（基本財産の増加） 決議事項2 ・令和6年度上半期事業報告の件 ・令和6年度第二次補正予算の件 ・独立行政法人福祉医療機構による基本財産抵当権設定および解除の件
3/29	臨時評議員会 出席：評議員5名 理事3名 事務局2名 方法：Zoom・対面	・令和6年度 第三次（最終）補正予算の件 ・令和7年度事業計画（案）、当初予算（案）の件 ・認知症対応型通所介護事業廃止の件

（3）実施状況 経営会議

日付	活動(会議)名	内容
毎月第1 金曜日	法人ミーティング	・経営会議の議題として以下の内容を検討し、方針の決定をする。 ・経営状況の報告、分析、今後の方針 ・社会資源の整備

		・VISION2028 進捗確認 ・経営マネジメント
4/12	第1回 経営会議	・財務報告、分析 狛江拠点 ・社会資源整備 えだまめ・やまぼうし進捗 ・VISION2028 進捗確認 ・経営マネジメント 報酬改定、障害者雇用納付金、令和5年度事業報告、理事会・評議員会
4/26	第2回 経営会議	・財務報告、分析 リブインさくら拠点 ・社会資源整備 えだまめ・やまぼうし進捗 ・VISION2028 進捗確認、人事 ・経営マネジメント 処遇改善の考え方、東京都居住支援金の手当名、上乗せ支給分名目、障害者雇用納付金、第三者評価、BCP訓練、理事会・評議員会議案、東京都社会福祉協議会経営者協議会
5/10	第3回 経営会議	・財務報告、分析 みずき拠点 ・社会資源整備 えだまめ・やまぼうし進捗 休止している認知症通所介護の再編事業の検討 ・VISION2028 進捗確認、新セクション（労務） ・経営マネジメント 報酬改定による就業規則等の変更、障害者雇用納付金、賞与、L-クラウド、BCP訓練
5/24	第4回 経営会議	・財務報告・分析 決算財務分析、最終補正予算流用、予算書、財務報告要旨 ・社会資源整備 えだまめ・やまぼうし進捗 ・VISION2028 進捗確認、新卒採用戦略 ・経営マネジメント 賞与、居住支援手当、令和5年度人事考課最終結果
5/29	第5回 経営会議	・経営マネジメント 居住支援手当
6/14	第6回 経営会議	・財務報告・分析 さくら・かえで拠点 ・社会資源整備 えだまめ・やまぼうし進捗 ・VISION2028 進捗確認、MG会議 ・経営マネジメント 退職者の賞与、居住支援手当・処遇改善手当の一本化、給与規程別表、有期契約職員就業規則、虐待防止・身体拘束廃止に関する指針、高齢者・障害者雇用状況等報告、BCP訓練
6/28	第7回 経営会議	・財務報告・分析 狛江拠点 ・社会資源整備 えだまめ・やまぼうし進捗 ・VISION2028 進捗確認、関プロ ・経営マネジメント 給与規程別表・有期契約職員、就業規則の改定

7/10	第8回 経営会議	・財務報告・分析 リブインさくら拠点 ・社会資源整備 えだまめ・やまぼうし進捗 ・VISION2028 進捗確認、法人機関広報誌 ・経営マネジメント 給与規程別表・有期契約職員、就業規則の改定、理事会・評議員会
7/26	第9回 経営会議	・財務報告・分析 みずき拠点 ・社会資源整備 えだまめ・やまぼうし進捗 ・VISION2028 進捗確認 今後の採用戦略、グッドスマイル賞、フィードバック研修、プレゼン ・経営マネジメント 社会保障社会福祉をめぐる動向について、福祉人材センター研修、育児・介護休業規程様式
8/9	第10回 経営会議	・務報告・分析 さくら・かえで拠点 ・社会資源整備 えだまめ・やまぼうし進捗 ・VISION2028 進捗確認 MG会議、インプット、グッドスマイル賞、法人全体保険 ・経営マネジメント 最低賃金、BCP訓練、理事会・評議員会議案、人事関連
8/23	第11回 経営会議	・財務報告・分析 狛江拠点 ・社会資源整備 えだまめ入札、内覧会、建物登記、定款変更、やまぼうし進捗 ・VISION2028 インプット、ストレスチェック、採用法人動画作成、法人機関広報誌 ・経営マネジメント 自動車・施設損害保険 東京都社会福祉協議会経営者会議「調査研究委員会ヒアリング、障がい者雇用納付金関係業務調査
9/13	第12回 経営会議	・財務報告・分析 リブインさくら拠点 ・社会資源整備 えだまめ・やまぼうし進捗 入居候補者、補助金申請、事業所指定申請、内覧会 ・VISION2028 インプット、ストレスチェック、 ・経営マネジメント 喫煙について、令和7年度管理職人事、東京都社会福祉協議会経営者会議「調査研究委員会ヒアリング、最低賃金、BCP委員会、ハラスメント、障害者雇用納付金関係業務調査
9/27	第13回 経営会議	・財務報告・分析 みずき拠点 ・社会資源整備 えだまめ・やまぼうし進捗 職員研修、内覧会・開所式 ・VISION2028 研修体制、ラフールサーベイ、関東甲信越ブロック研修大会 ・経営マネジメント 最低賃金、令和7年度管理職

		人事、BCP訓練、上半期事業報告、就業規則・経理規程、運営規程等の変更
10/11	第14回 経営会議	・財務報告・分析 なし ・社会資源整備 えだまめ・やまぼうし進捗 世田谷区障害者施設の整備運営事業所公募、さくら近隣土地活用、狛江市内GH増床 ・VISION2028 機関広報誌、研修体制の構築、ラフルサーベイの活用、ニコニコキャンペーン、新卒用パンフレット ・経営マネジメント 令和7年度管理職人事、事業計画骨子、経営協ヒアリング、インプット、人事考課最終考課委員会、法人全体会、ハラスメント、予防接種
10/25	第15回 経営会議	・財務報告・分析 さくら・かえで拠点 ・社会資源整備 えだまめ・やまぼうし進捗 世田谷区障害者施設の整備運営事業所公募、さくら近隣クリニック活用・狛江市内GH増床 ・VISION2028 機関広報誌、研修体制の構築、ラフルサーベイの活用、ニコニコキャンペーン、新卒用パンフレット ・経営マネジメント 障害者雇用納付金調査、法人全体会、令和7年度管理職人事、事業計画骨子、法人全体会、居住支援特別手当
11/8	第16回 経営会議	・財務報告・分析 さくら・かえで拠点 ・社会資源整備 えだまめ・やまぼうし進捗、世田谷区障害者施設の整備運営事業所公募、さくら近隣土地活用・足立障害者施設の検討、狛江市内GH増床 ・VISION2028 採用ホームページ ・経営マネジメント 令和7年度管理職人事、就業規則の変更、個人情報保護、離職防止・ハラスメント研修、令和7年度第三者評価、離職率・有給休暇取得率、健康経営の取り組み
11/22	第17回 経営会議	・財務報告・分析 こまえ拠点 ・社会資源整備 えだまめ・やまぼうし進捗 世田谷区障害者施設の整備運営事業所公募・さくら近隣クリニック活用・狛江市内グループホーム増床 足立区地域生活拠点 ・VISION2028 機関広報誌、研修体制の構築、ラフルサーベイの活用、ニコニコキャンペーン、新卒用パンフレット

		・経営マネジメント 労務関係書類、多摩ブロック管理課会議、人事考課評価軸、法人全体会、ラフルサーベイの活用、令和7年度管理職人事、個人情報保護、ハラスメント研修、賞与支給率、人事
12/12	第18回 経営会議	・財務報告・分析 リブインさくら拠点 ・社会資源整備 えだまめ・やまぼうし進捗 世田谷区障害者施設の整備運営事業所公募・さくら近隣クリニック活用 ・VISION2028 研修体制の構築、今後の採用計画、採用ホームページ、機関紙広報誌 ・経営マネジメント iDeCo、事業所数、給与厚生・評価の仕組み、WAMデータ入力、管理者テレワーク、協力医療機関と運営基準、L-クラウドメンバー選定基準
12/27	第19回 経営会議	・財務報告・分析 みずき拠点 ・社会資源整備 えだまめ短期入所開所延期・やまぼうし進捗、さくら近隣クリニック活用進捗 ・VISION2028 26卒採用対策、リファラル採用職員キャリアパス対応型生涯研修課程、MG会議 ・経営マネジメント WAMデータ入力、一般事業主行動計画、異動・キャリア形成アンケート、ハラスメント規程、狛江エリア人事、意思決定支援講義、DX化、事業計画書式
1/10	第20回 経営会議	・財務報告・分析 さくら・かえで拠点 ・社会資源整備 えだまめ・やまぼうし進捗、さくら近隣クリニック活用進捗 ・VISION2028 26卒採用対策、リファラル採用MG会議、 ・経営マネジメント 令和7年度人事および事業計画、組織図、重大事故・事故・ヒヤリハット、第三者評価、運営基準で定める委員会、事業所の数確認、WAMデータ入力、一般事業主行動計画、異動・キャリア形成アンケート、ハラスメント規程、意思決定 支援講義、法人単位計算書類 関係等調製責任者、L-クラウド活用方法、管理職リモートワーク、新規事業財務関連精算
1/22	第21回 経営会議	・財務報告・分析 狛江拠点 ・社会資源整備 えだまめ・やまぼうし進捗、さくら近隣クリニック活用進捗 ・VISION2028 MG会議、令和7年度体制、採用

		ホームページ ・経営マネジメント 意思決定支援研修、令和7年度事業計画骨子、法人役員改選
2/14	第22回 経営会議	・財務報告・分析 狛江拠点 ・社会資源整備 えだまめ・やまぼうし進捗、さくら近隣クリニック活用進捗 ・VISION2028 MG会議、令和7年度体制、採用ホームページ ・経営マネジメント 給与シミュレーション、処遇改善ベースアップ、規程見直し、多摩ブロック取引金融機関、役員改選、みずき有給休暇、令和7年度管理職人事、令和7年度法人本部役割、インプット
2/28	第23回 経営会議	・財務報告・分析 補正予算、令和7年度予算、財務報告要旨、 ・社会資源整備 えだまめ・やまぼうし進捗、さくら近隣クリニック活用進捗 ・VISION2028 MG会議、令和7年度体制、採用ホームページ、人財部の構成 ・経営マネジメント 補助金申請、処遇改善加算、多摩ブロック取引金融機関、令和7年度事業計画、給与シミュレーション、運営規程の変更、就業規則・ハラスメント防止規程、協賛広告、役員選任、令和7年度管理職人事、令和7年度法人本部の役割
3/7	第24回 経営会議	・財務報告・分析 給与シミュレーションと処遇改善加算、処遇改善加算 ・社会資源整備 えだまめ・やまぼうし進捗、さくら近隣クリニック活用結論 ・VISION2028 MG会議、令和7年度体制、採用ホームページ、人財部の構成 ・経営マネジメント 全国身体障害者協議会研究大会実践発表会、役員改選、令和7年度管理職人事、法人本部の役割、グッドスマイル賞
3/27	第25回 経営会議	・財務報告・分析 みずき拠点 ・社会資源整備 えだまめ・やまぼうし進捗 ・VISION2028 MG会議、令和7年度体制、採用ホームページ、人財部の構成、 ・経営マネジメント 定款変更、処遇改善加算、令和7年度事業計画、労務関連書類、障害者雇用納付金、かえで地域生活拠点立候補、管理課・事務本部機能職員全大会、令和7年度管理職人事、今後の予定

(2) 特記事項 役員等に関する事項

1) 評議員

氏 名	備 考
西島 久雄	医療法人社団大和会 大内病院 医師
嶋貫 真人	大妻女子大学人間関係学部人間福祉学科 教授
要 厚子	社会福祉士
原田 まち子	民生・児童委員、みずき第三者委員
横山 年子	元民生・児童委員、みずき第三者委員
近藤 悦子	民生・児童委員
宮本 明彦	NPO 法人がるまる代表

任期：令和3年6月26日から就任後4年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

2) 理事・監事

役 職	氏 名	備 考
理事長	新井 五輪子	(社福) 足立邦栄会
理事	足立 良康	(社福) 互惠会理事長、ケアハウスはごろも施設長
理事	横田 修	皿沼東町会長・元入居者家族
理事	徳武 孝	(社福) 足立邦栄会 障害者支援施設みずき施設長
理事	畠山 千春	(社福) 村山苑 本部 介護保険事業責任者
理事	伊藤 剛	(社福) 足立邦栄会 特別養護老人ホームさくら施設長
監事	田村 幸太郎	弁護士
監事	中島 伸一	公認会計士

任期：令和5年6月24日から就任後2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

【サービス提供チーム】

1. 重点目標に対する評価

- (1) 笑顔セクション・食セクションそれぞれ、これまでの取り組みをベースに新たなチャレンジも加えながら、ご利用者の楽しみ・笑顔、職員間の交流、地域の方とのつながりを意識した取り組みを企画・実施します。

事業計画で掲げた内容	実施状況
①法人内一体的なイベントを含め、それぞれのセクションが、地域の方とのつながり、法人内のつながりを意識した活動・取り組みを企画・実施します。 ②イベントをはじめ各取り組みについては、掲示物含め事前にわかりやすくお知らせするなど、関心や参加意欲が高まるよう工夫します。 ③広報誌や法人ホームページ、Instagramなどさまざまなツールを用いて、法人内外に向けて活動の様子を発信します。	①法人内一体イベントとして、笑顔セクションは「クイズ大会」「ボッチャ大会」、食セクションは「献立交換」「巨大ケーキでデコりんこ」を実施しました。 ②イベント開催にあたって、ご利用者向けには事前にポスターを掲示しました。特に笑顔セクションの「クイズ大会」「ボッチャ大会」ポスターはご利用者にデザインの協力をいただきました。 ③笑顔セクションは「悲喜こもごも」、食セクションは「たのしくパクりんこ」「けんこうつうしん」にて、ご利用者や職員に向けた発信をしました。法人外（地域）に向けては笑顔・食セクションどちらも法人一体イベントを法人ホームページで、食セクションはInstagramを活用し、法人内各事業所の食に関する取り組みを発信しました。
通期評価	今後に向けて
今年度はこれまでの取り組みを、ご利用者により参加していただけるようブラッシュアップできました。笑顔セクションはイベントポスターをご利用者と一緒に作成しました。食セクションは「献立交換」について、ご利用者によりワクワクしていただく食材や料理ジャンルを決める抽選会を、法人内事業所をオンラインでつないで行いました。地域の方とのつながりについては、笑顔セクションの「ボッチャ大会」では、令和5年度に続き、鹿浜菜の花中学校の生徒さんにも参加いただき、交流を持つことができました。	笑顔セクションは「ボッチャ大会」以外のイベントについても、地域との交流を考えていきます。食セクションについても法人運営のカフェを活用し、ご利用者・ご家族・地域の方のつながりに向けた動きができればと考えます。両セクションともこれまでの取り組みをふりかえり、よりご利用者にとって有意義なものにできるよう、ブラッシュアップしていきます。

- (2) 笑顔セクション・食セクション共同企画（コラボレーション）を実施します。

事業計画で掲げた内容	実施状況
①ご利用者向け ・ご利用者に楽しく参加いただけるイベントを企画・実施します。	①11月に「かつらむきむき！ちぎってちぎって！選手権」を実施しました。コラボレーションイベントを企画する際には、どのような「ご利用者に

・イベントの内容によっては準備段階から一緒に取り組めるよう検討します。 ②地域の方向け ・ご利用者ご家族や関係団体に参加いただけるよう検討し、参加調整を行います。 ・イベント実施後は、広報誌やInstagramにて情報発信を行います。 ③職員向け ・笑顔セクション、食セクションメンバー混合でペアワークを行い、異職種を含めた交流を図ります。 ・会議型式ではなく、ワークをとおしてメンバー全員がそれぞれ意見出し、企画、プレゼンテーションをを通して、新たな企画の創造と職員育成につなげます。	もたらす良い効果」があるのかを軸に、さまざまな発案がありました。イベント実施にあたってはご利用者が事前のリハーサルに参加されたり、実際に大根のかつらむき、新聞ちぎりに取り組まれた事業所もありました。 ②今回の企画は直接地域の方をお招きする内容ではありませんでしたが、法人ホームページでの紹介や事業所のInstagramによる発信が行われました。 ③笑顔・食セクションメンバー混合で、5グループからそれぞれ1企画を出し、プレゼンテーションを行いました。どの企画も「ご利用者にもたらす良い効果」を軸とした、斬新で楽しい内容でした。企画書（成果物）作成からプレゼンテーションまでの数ヶ月間、話し合い（ワーク）を重ね、職員の交流がすすみ、学びの機会にもなりました。
通期評価	今後に向けて
サービス提供チームとして、「支援に何が大切か」を職員に伝えるという役割にもとづき、コラボレーション企画を打ち出しました。イベントや活動を企画・実施するだけでなく、利用者支援を推進するチームとしての取り組みの目的を改めて共有することができました。また、ワークやプレゼンテーションをとおして他事業所・他職種間の交流や学びにつながりました。プレゼンテーションを経て選出された1企画についても改めて足立・多摩ブロックのメンバーで実行委員会を設け、ルールづくりやリスクマネジメント、BGMを用いた演出など、さまざまことを話しあい、まさに笑顔・食セクション一丸となって取り組むことができました。各事業所の職員の協力もあり、とても良いイベントになりました。	5企画をプレゼンテーションし、そのうちの2企画を今年度実施できたため、残りの3企画のうち1企画を次令和7年度実施します。企画者であるグループを中心とした実行委員会を再編成し、10月のイベント実施（8月には企画が完成）に向けて、5月より検討を開始していきます。また、今年度はメイン会場として開所したばかりの「グループホームえだまめ（以下：えだまめ）」を使用しましたが、イベント内容によっては、えだまめのご利用者が法人内の通所先からではなく、えだまめから参加いただくことも検討できればと考えます。

（３）５年間の中期計画の実現に向けて、サービス提供チームのチームコンセプト及びチームコンセプトにもとづく取り組みを各事業所職員と共有・実践できるようにしていきます。

事業計画で掲げた内容	実施状況
① 事業所・部署の事業計画に反映しながら、職員の理解、支援体制の構築をすすめていきます。	・サービス提供チームとして、各事業所におけるご利用者への提供サービスの質の向上を目的とした「サービス向上キャンペーン」を企画し、8月・

② サービス提供チームの会議にて取り組みの進捗の確認や、具体化に向けた検討を行います。	9月には、ご利用者に対する整容支援、職員の身だしなみ意識の向上を目的とした「SAY YO（整容）」キャンペーンを、1月・2月には、ご利用者に対して笑顔で接するなど、接遇の向上や明るい法人づくりを目的とし、法人25周年をかけた「25（ニコ）25（ニコ）」キャンペーンを実施しました。実施に向けて、笑顔・食セクションメンバー同士で目的や内容を共有し、キャンペーンを一緒に盛り上げるよう意識統一をはかりました。
通期評価	今後に向けて
各事業所の課題を抽出し、全職員（職種）に共通することをテーマに、ポスターの掲示も含め、職員に与える印象（シンプルでわかりやすい、声をかけあいやすい）やキャンペーン終了後の継続性などを踏まえて内容を考えました。「SAY YO」キャンペーンについては、第1回目ということや言葉を口にする恥ずかしさなどもあり、事業所や部署によって熱量の差がありました。「25（ニコ）25（ニコ）」キャンペーンについては、「SAY YO」キャンペーンの反省を生かし、各事業所の管理職や笑顔・食セクションメンバーからの促しもあり、各事業所（部署）申し送り時の身振りをまじえた「ニコニコ」の声合わせはしっかりと実施することができました。キャンペーンについては、サービス提供場面に活かされることが本来の目的です。なかなか実践の場で活かされていないケースもあれば、キャンペーン終了後も意識が継続されているケースもありました。2回の実施をとおして、職員にとって、「サービス向上キャンペーン」が気になる存在にはなっていると評価します。	これまで「SAY YO」「25（ニコ）25（ニコ）」の2回のキャンペーンを実施しました。職員の意識にはたらきかけ、サービスの質が向上し、ご利用者に還元されるという取り組みでしたが、今後についてはご利用者と職員が直接かわる、あるいは一緒にひとつのことに取り組むキャンペーンを考えていきます。キャンペーンにより、ご利用者にとっての楽しみや達成感、職員にとってはご利用者理解につなげられることを目的とします。また、この先のキャンペーンについては、成果についてきちんと評価を行い、以降のキャンペーンにつなげていけるようにしていきます。

2. 活動報告

（1）実施状況

日付	活動(会議)名	内容
4/11	第2回 サービス提供チーム 会議 ※第1回は3/14に実施	・VISION2028 推進会議内容の共有 ・笑顔・食セクション進捗共有 ・コラボレーション企画（スケジュール・グループ決め） ・サービス向上キャンペーンについて ・会議のすすめ方の確認

5/9	第3回 サービス提供チーム 会議	・VISION2028 推進会議内容の共有 ・笑顔・食セクション進捗共有 ・コラボレーション企画（各グループワークの進捗共有方法） ・サービス向上キャンペーンについて（内容、タイトル、ポスター、アナウンス方法）
6/13	第4回 サービス提供チーム 会議	・VISION2028 推進会議内容の共有 ・笑顔・食セクション進捗共有 ・コラボレーション企画（各グループ企画の確認、プレゼンテーション会議のすすめ方） ・サービス向上キャンペーンについて（身だしなみのレベル感、職員共有のためのレジメ作成）
7/11	第5回 サービス提供チーム 会議	・VISION2028 推進会議内容の共有 ・笑顔・食セクション進捗共有 ・コラボレーション企画（各グループ企画の確認、プレゼンテーション会議のすすめ方最終確認、企画選出後の動きの確認） ・サービス向上キャンペーンについて（職員共有のためのレジメ素案の最終確認、第2弾キャンペーンのテーマ検討）
7/11	第1回 笑顔セクション・食セクション 合同会議	11月に実施予定の笑顔・食セクションコラボレーション企画の内容を決定するため、5グループより法人内プレゼンテーションを行い、1企画「かつらむきむき！ちぎってちぎって！選手権」が選出。
8/1～ 9/30	第1回 サービス向上キャンペーン 「SAY YO（整容）」実施	ご利用者への良い効果、全事業所全職種に共通するテーマとして、ご利用者の整容支援および職員の身だしなみ意識の向上を目的として実施。
8/8	第6回 サービス提供チーム 会議	・VISION2028 推進会議内容の共有 ・笑顔・食セクション進捗共有 ・コラボレーション企画（実行委員会メンバー検討、企画に対する意見出し） ・サービス向上キャンペーンについて（第2弾キャンペーンのテーマ決め）
9/12	第7回 サービス提供チーム 会議	・VISION2028 推進会議内容の共有 ・笑顔・食セクション進捗共有 ・コラボレーション企画（実行委員会の進捗共有、メイン会場の決定など） ・サービス向上キャンペーンについて（第2弾キャンペーン接遇マナーの内容決め）

10/10	第8回 サービス提供チーム 会議	・VISION2028 推進会議内容の共有 ・笑顔・食セクション進捗共有 ・コラボレーション企画（実行委員会の進捗共有、企画書＝当日の流れの確認） ・サービス向上キャンペーン第1弾のふりかえり ・サービス向上キャンペーン第2弾（ポスター、周知方法などの確認） ・サービス向上キャンペーン第3弾（素案共有） ・笑顔・食合同会議の進め方確認 ・上期事業報告素案の共有
11/14	第9回 サービス提供チーム 会議	・VISION2028 推進会議内容の共有 ・笑顔・食セクション進捗共有 ・コラボレーション企画（実行委員会の進捗共有、ルール変更、リハーサルの確認） ・サービス向上キャンペーン第2弾（ポスター案、周知方法などの最終確認） ・サービス向上キャンペーン第3弾キャンペーンタイトル、内容、ふりかえりシートなどの検討
11/26	かつらむきむき！ ちぎってちぎって！選手権	笑顔セクション・食セクションのコラボレーション企画開催
12/12	第10回 サービス提供チーム 会議	・VISION2028 推進会議内容の共有 ・笑顔・食セクション進捗共有 ・コラボレーション企画ふりかえり ・サービス向上キャンペーン第2弾（ポスター最終確認、申し送り時のかけ声や体操などの確認） ・サービス向上キャンペーン第3弾（説明用レジメの検討）
1/9	第11回 サービス提供チーム 会議	・VISION2028 推進会議内容の共有 ・笑顔・食セクション進捗共有 ・コラボレーション企画（次年度の企画について） ・サービス向上キャンペーン第3弾（よくみるボードの検討）
1/21 ～2/28	第2回 サービス向上キャンペーン「25（ニコ）25（ニコ）」 キャンペーン実施	支援中、笑顔を絶やさないでご利用者と接すること、明るく活気のある法人づくりを目的とした接遇に関するキャンペーン。
2/13	第12回 サービス提供チーム 会議	・VISION2028 推進会議内容の共有 ・笑顔・食セクション進捗共有 ・コラボレーション企画（次年度企画の共有） ・サービス向上キャンペーン第2弾進捗状況の確認 ・サービス向上キャンペーン第3弾（ポスターデザイン

		ンやレジメについての意見交換) ・サービス向上キャンペーン第4弾（第3弾とのつながりを検討） ・次年度事業計画原案の文面、予算の確認
3/13	第13回 サービス提供チーム会議	・VISION2028 推進会議内容の共有 ・笑顔・食セクション進捗共有 ・コラボレーション企画（次年度企画の実行委員会メンバーの選出） ・サービス向上キャンペーン第3弾（レジメの検討）

（２）特記事項

特になし

【笑顔セクション／サービス提供チーム】

1. 重点目標に対する評価

（１）いままで行ってきた笑顔チームの活動を継続し、ご利用者やかかわるひとたちが楽しく笑顔で過ごせるような取り組みを行っていきます。

事業計画で掲げた内容	実施状況
①イベント前のPR活動で、多くのひとが参加できるようにインフォメーションしていきます。 ②年間行事の「クイズ大会」「ボッチャ大会」が、多くのひとが笑顔で参加できるような内容にしていきます。 ③日常のなかにあるエピソードを「悲喜こもごも通信」として全事業所に紹介し、ご利用者・職員の「思いの共有」をしていきます。	①各イベントでは開催の告知ポスターを作成しましたが、可能な限り準備段階からご利用者にご協力いただけるように、絵を描いていただいたり、一緒にポスターの色塗りをしたりしました。 ②イベントの内容に大きな変更は加えていませんが、ご利用者にもイベントの司会進行を担っていただきました。 ③「悲喜こもごも通信」は、文章の表記統一や発行の3ヶ月前には次号の原稿を各事業所で提出する等の発行する際のルールを明確化し、四季に合わせて3回発行しました。
通期評価	今後に向けて
イベントに1人でも多くのご利用者が参加できるように働きかけました。「クイズ大会」では、ポスターづくりや当日の司会進行にご参加いただきました。食セクションとのコラボレーション企画「かつらむきむきちぎってちぎって選手権」では、ピューラーを使っての皮むきや新聞ちぎりに多くのご利用者と職員が参加しました。また、栄養課（科）の職員に	多くのご利用者に参加していただくための働きかけはこれからも継続し、今まで参加していなかった事業所の参加も促し、本当の意味で法人全体が盛り上がるイベントづくりを行っていきたいと思います。 「ボッチャ大会」に足立区の鹿浜菜の花

デモンストレーションとして大根のかつらむきを披露していただいたところ、職員の洗練された技術の高さに大歓声が上がりました。競技自体も大変盛り上がりました。「ポッチャ大会」では、今回も足立区鹿浜菜の花中学校に参加していただき、交流を深めることができました。悲喜こもごも通信は、準備期間を早めに設定したことで余裕を持って作成でき、予定どおりに発行できました。	中学校に2年連続して参加していただきました。多摩ブロックの方でも地域の方や団体とつながりをつくる取組みを実施できればと思います。悲喜こもごも通信は多くの職員からのエピソードを載せられるようにし、デザインもより見やすいものを追求していきます。
--	--

(2) 食セクションとコラボレーション企画を実施します。

事業計画で掲げた内容	実施状況
①コラボレーション企画は11月実施を目標とし笑顔、食セクションの職員でペアリングし企画を考えます。それぞれの意見を持ち寄り、ワークをとおして、令和7年度以降の見とおしも含めて取り組んでいきます。 ②企画立案のプロセスや活動の様子を「悲喜こもごも通信」で発信します。	①笑顔と食セクションのメンバーをシャッフルしてグループをつくり、コラボレーション企画を考えました。5つの企画が理事長、常務理事の前でプレゼンテーションが行われ、初回は「かつらむきむき！ちぎってちぎって！選手権」を実施しました。他の企画も、令和7年度に実施予定です。 ②「悲喜こもごも通信」は計画的に発行できましたが、イベント時のご利用者とかかわりなどを中心に、記事として載せることに特化しなかったため、目的としては未達成となっています。
通期評価	今後に向けて
コラボレーション企画は初めての試みでしたが、企画の立案から準備、当日を含めとても良いチャレンジだったと思います。選抜された実行委員メンバーのがんばりやご協力いただいた方々の後押しもあり、当日は大変盛りあがりました。	コラボレーション企画は第2弾、第3弾と継続できるように企画の候補を用意してあるので、ブラッシュアップして楽しく笑顔あふれるイベントを提供していきたいと思います。

(3) 地域とつながれる取組みを行います。

事業計画で掲げた内容	実施状況
①「クイズ大会」や「ポッチャ大会」を法人内のイベントで留めず、地域とつながるためのツールとして活用し、地域交流があたり前のこととして認識されるようにします。 ②VISION2028の他チームと情報共有し地域交流の企画等があがったときは積極的に参加やコラボレーションしてつながりをつくります。	①「クイズ大会」は法人内のイベントに留まりましたが、ポッチャ大会については足立区鹿浜菜の花中学校特別支援学級の生徒さんにご参加していただき、交流を深めました。 ②「ポッチャ大会」にご参加いただいた足立区鹿浜菜の花中学校の生徒さんとの交流は、ランドマークチームとの協働で実施しています。

通期評価	今後に向けて
ポッチャ大会では、2年連続で足立区鹿浜菜の花中学校と交流することができました。また今回は足立区鹿浜菜の花中学校チームが優勝し、大盛況で幕を閉じました。先方からは「来年も是非参加したい」とのご依頼があり、地域とつながった実感を得られました。	地域との交流は足立ブロックのみに留まっているため、多摩ブロックでもつながりをつくりたいと思います。事業所単位では地域とのかかわりはあるため、もう一歩踏み込んで交流できるようなアプローチをしていきたいと思います。

2. 活動報告

(1) 実施状況

日付	活動(会議)名	内容
4/11	第1回笑顔セクション会議	・食セクションとのコラボレーション企画について企画のスケジュール等」報告 ・第7回クイズ大会(6月)について
5/9	第2回笑顔セクション会議	・食セクションとのコラボレーション企画について ・第7回クイズ大会問題内容の確認 ・悲喜こもごも通信について記事の書き方ルール、素案の作成から修正までの流れを確認
6/13	第3回笑顔セクション会議	・コラボレーション企画についてサービス提供チーム決定事項の報告 ・クイズ大会の問題や流れの確認、リハーサルについて ・悲喜こもごも通信進捗共有 ・L-クラウド使用制限についての確認
6/13	第7回 クイズ大会リハーサル	・リハーサル(主にカメラ、音声等の確認)
6/21	第7回 クイズ大会	リモートで事業所をつなぎクイズ大会
7/11	第4回 笑顔セクション会議	・第7回クイズ大会反省 ・悲喜こもごも通信進捗共有
7/11	第1回 笑顔・食合同会議	・11月に実施予定の笑顔・食セクションコラボレーション企画の内容を決定するため、5グループよりプレゼンテーションを行い、1企画「かつらむきむき!ちぎってちぎって!選手権」が選出
8/8	第5回 笑顔セクション会議	・コラボレーション企画、今後のすすめ方確認 ・悲喜こもごも通信記事内容の最終チェック ・サービス向上キャンペーンについて
9/10	悲喜こもごも通信発行	・悲喜こもごも通信夏号発行
9/12	第6回 笑顔セクション会議	・コラボレーション企画進捗状況共有 ・悲喜こもごも通信冬号について ・サービス向上キャンペーン(SAY YO)について ・ポッチャ大会について各役割の決定

10/1～ 12/31	足立邦栄会創立記念日 第5回スマイル杯ボッチャ大会 予選月間	・エントリチームによる予選会
10/10	第7回 笑顔セクション会議	・悲喜こもごも通信進捗共有 ・ボッチャ大会進捗共有 ・上半期事業報告確認
10/10	第2回 笑顔食・合同会議	・コラボレーション企画の進捗共有
11/14	第8回 笑顔セクション会議	・コラボレーション企画について最終確認 ・悲喜こもごも通信記事内容の最終チェック ・サービス向上キャンペーンについて ・ボッチャ大会進捗共有
11/26	かつらむきむき！ ちぎってちぎって！選手権	・食セクションとのコラボレーション企画開催
12/10	悲喜こもごも通信発行	・悲喜こもごも通信冬号発行
12/12	第9回 笑顔セクション会議	・コラボレーション企画の感想共有 ・悲喜こもごも通信進捗共有 ・ボッチャ大会進捗共有
1/9	第10回 笑顔セクション会議	・サービス向上キャンペーン「25（ニコ）25（ニコ）」キャンペーンについて ・悲喜こもごも通信進捗共有
1/9	足立邦栄会創立記念日 第5回スマイル杯ボッチャ大会 リハーサル	・リハーサル（主にカメラ、音声等の確認）
1/17	足立邦栄会創立記念日 第5回スマイル杯ボッチャ大会	・足立邦栄会創立記念日 第5回スマイル杯ボッチャ大会決勝戦開催
2/13	第11回 笑顔セクション会議	・次年度年間スケジュールの確認 ・サービス向上キャンペーン「25（ニコ）25（ニコ）」キャンペーン進捗共有 ・悲喜こもごも通信進捗共有 ・第8回クイズ大会について ・令和7年度事業計画の共有
3/10	悲喜こもごも通信発行	・悲喜こもごも通信春号発行
3/13	第12回 笑顔セクション会議	・悲喜こもごも通信進捗共有 ・第8回クイズ大会について問題や流れの確認

（2）特記事項
特になし

【食セクション名／サービス提供チーム】

1. 重点目標に対する評価

(1) 『食を通してみんなを笑顔にする』をチームスローガンに掲げ、以下について取り組みます。

※みんな＝ご利用者・地域の方・職員

事業計画で掲げた内容	実施状況
①『ご利用者向け』～大目標：『事業所の垣根を超えた、わくわく感のある食を提供する』、食事支援課（科）・食セクションを中心として、各事業所協働のもと以下を実施します。 ・法人内事業所一体的なイベントを企画・実施します。献立交換や食事・お菓子づくりなど ・各事業所の特性をいかした食に関するイベントを企画・実施します。郷土料理（カレー・汁・スイーツ）、季節に応じたイベント食、調理活動など ・イベント内容や日々の献立をわかりやすくします。献立の見える化の推進（実物提示・写真掲示）、ポスターや広報誌の掲示など。 ・カフェ活用の推進。食事やお菓子、ドリンク類を充実させ、個別・イベント時により活用できるようにします。 ②『職員向け』～大目標『すべての職員に、食に興味を持ってもらい、心も体も健康に』、「食」に関する福利厚生の実現を目指す	①【ご利用者向け】 ・法人一体的なイベントとして6月に足立と多摩で「献立交換」イベントを実施しました。4月にご利用者に料理のジャンル（和・洋・中）と食材（肉・魚・卵）を決めていただきたく「大抽選会」を実施し、足立ブロックは「卵の中華炒め」、多摩ブロックは「エビチリ」をご提供しました。 ・また、2月・3月には法人内10事業所で「巨大ケーキでデコりんこ」を実施しました。 ・郷土料理シリーズでは、さくらかえでは「郷土カレー」、みずきでは「郷土汁」、リブインさくらでは「GO TO スイーツ」を実施しました。そのほか、ポンテでは、「調理活動」（足立の「郷土カレー」やみずきの「郷土汁」のレシピを共有することも）、こまえ工房では祝日開所日の「テイクアウトランチ」や外食などを毎月実施しています。「グループホームえだまめ」でも「調理イベント」が行われるようになりました。 ・イベントの告知は広報誌やポスター掲示を中心に、実施日2週間から1ヶ月前に実施するようにしています。また、献立の見える化について写真掲示や実物の提示など、それぞれの事業所で継続して取り組んでいます。 ・運営するカフェでは、食事を提供できるよう準備をすすめています。みずきでは手づくりクッキーの種類が増え、カフェ内の多目的スペースではご利用者やご家族、地域や他事業所の方のご利用もありました。さくらかえでは、引き続きマルシェのほか、地域のイベントなどでカフェスペースを活用していただいています。 ②【職員向け】 ・職員の福利厚生に関して、「献立交換」イベントについては、当日勤務職員には試食としてイベントに参加してもらいました。参加職員に対し

します。 ・特に法人一体的イベントの際は職員にもご利用者と一緒に楽しめる（試食できる）よう努めます。 ・食事場所の調味料の設置を充実させます。 ・「けんこうつうしん」を年2回発刊し、職員の健康管理につなげます。 ・食に対する職員意見を集約できる仕組みをつくります。 ③『地域向け』～大目標『「地域密着型」の足立邦栄会を目指す』、○「食」の取り組みをとおして法人が地域とつながる一翼を担います。 ・ご利用者ご家族や地域の方により足を運んでいただけるよう、カフェの提供メニューの充実（事業所で提供している食事含む）を図ります。 ・VISION2028 他チームと情報共有し、地域でのイベント参加やカフェ・事業所内での他団体との交流機会に食セクションとしての参加を目指します。 ・Instagramにて、法人内の食に関する取り組みやレシピなどのお役立ち情報を紹介します。	ではアンケートを介してイベントの感想や食の取り組みに対する意見をお願いしています。また、「巨大ケーキでデコりんこ」についても、ご利用者と一緒にケーキづくり、ケーキの試食を楽しんでもらいました。事厨房のある事業所においては調味料の設置を行っています。 ・「けんこうつうしん」については、職員の健康管理意識の増進を目的に、年度1回目は、職員の健康診断の実施前の時期（6月）に「高血圧」をテーマに、2回目の健康診断は足立・多摩実施時期が異なったため、それぞれの中間の時期（1月）に「脂質」をテーマに発刊しました。 ③【地域向け】 ・カフェでの食事提供に向けて準備をすすめていますが、提供には至りませんでした。 ・食セクションメンバーが地域や他施設のイベントに参加する機会があり、Instagram宣伝用のカードの配布など新たなつながりをもてました。 ・Instagramについては、法人内の各事業所で行っている食事イベントについて、令和5年度より継続的に取り組んでいます。閲覧数増をねらい、ストーリーズやリール動画による発信も行いました。
通期評価	今後に向けて
法人一体イベントである「献立交換」「巨大ケーキでデコりんこ」については、ご利用者を中心にだいぶ定着してきましたが、より楽しく参加いただけるよう、「大抽選会」のようにイベント要素や事業所個々に工夫を加えることで、さらに関心が得られるようになりました。また、厨房のない事業所の食に関する活動や行事について、食事支援課（科）の職員と協同し、レシピやつくり方の情報共有を行うなどの連携した対応ができました。毎月広報誌で法人内に発信を行い、法人一体イベントは、法人ホームページと広報誌増刊号でも発信しました。 職員向けに、以前行った「福利厚生に関する職員アン	法人一体イベントについては、さらにご利用者に楽しんでいただけるよう、ブラッシュアップを考えていきます。 また、「グループホームえだまめ」のご利用者・職員の参加のありようなどの整えが必要になります。職員向けの取り組みとしては、イベント時に行うアンケートでの意見を確認しながら、食に関する福利厚生が少しでも充実できるよう考えていきます。 地域に向けては、各事業所の特性・状況などさまざまですが、地域イベントへの

ケート」の意見などを踏まえて、職員の食事に使用してもらう調味料の設置。イベントの機会にあわせて試食できるようにしました。また、健康診断結果の傾向や発信時期を踏まえたテーマで「けんこうつうしん」を2回発刊することができました。 地域向けには、他のチームと協同し、カフェのある事業所は地域交流の拠点として、地域の方に活用いただけています。狛江の事業所では市内のさまざまなイベントに参加し、クッキー販売など、地域とのつながりがますます強まりました。また、法人ホームページやInstagramにて、行事食を中心に発信し、フォロワー数や閲覧数が増え、地域社会に法人を知っていただくことに貢献できました。	参加やカフェを中心した、ご利用者・ご家族・地域・法人を念頭にしていきます。また、引き続き法人ホームページやInstagramで情報発信に努めていきます。
--	---

(2) VISION2028 サービス提供チーム内の笑顔セクションと協働してイベントを企画・実施します。

事業計画で掲げた内容	実施状況
①笑顔セクションメンバーと連携し、ワークなどをとおして活動（イベント）を考え、11月に具体化できるよう計画していきます。また、次年度以降の年間計画への反映も見据えて取り組みます。	笑顔セクションと食セクションメンバー混合で5グループをつくり、4月より1ヶ月半をかけて各グループで会議（ワーク）をとおして企画を考えました。7月に5グループの企画について、笑顔セクション・食セクション合同でプレゼンテーションを行い、1企画選出しました。その後、イベント実施にむけて企画グループメンバー中心に笑顔・食・足立・多摩メンバー混合で実行委員会を編成し、改めてルールや活動上のリスク面、BGMなどの演出について話し合いを重ね、直前にメンバー全員でリハーサルを行い、11/26に「かつらむきむきちぎってちぎって選手権」を実施しました。残りの企画も、令和7年度以降に実施する予定です。
通期評価	今後に向けて
同じチーム内とはいえ、2つのセクションが合同でイベントを企画・実施することは大変有意義なチャレンジとなりました。オンラインイベントの実績のある笑顔セクションの強み、食をとおしてご利用者へ楽しみを提供してきた食セクションの強みを活かし、これまでにない斬新な企画を実施することができました。グループワーク、プレゼンテーション	次年度も今年度実施に至らなかった企画を笑顔セクションとのコラボレーション企画として計画しています。「かつらむきむき！ちぎってちぎって！選手権」の成功体験と反省をいかし、改めて企画グループを中心としたメンバー構成で実行委員会を組織し、10月に実施に向けて、8

準備、企画演出の打ち合せ、セクションメンバーひとりひとりが責任をもち、それぞれが個性を発揮し、楽しく真剣に向きあえたことで、イベントは成功しました。また、改めて支援者として、セクションとして「ご利用者にもたらし良い効果」を共有することができたことは、今後の活動につながると思います。	月には企画が完成したものになるよう、計画的にすすめていきます。
---	---------------------------------

2. 活動報告

(1) 実施状況

日付	活動(会議)名	内容
4/18	第50回 食セクション会議	・「たのしくパクりんこ」53号記事内容検討（5月の各事業所のイベント予定共有） ・継続確認事項（献立の見える化、カフェ営業、郷土料理シリーズについて） ・「献立交換」イベントの抽選会についての検討 ・インスタグラムショップカードのデザイン検討 ・笑顔・食コラボレーション企画についての共有
5/16	第51回 食セクション会議	・54号記事内容検討（6月イベント予定共有） ・継続確認事項（献立の見える化、カフェ営業、郷土料理シリーズについて） ・「けんこうつうしん」の内容検討 ・インスタグラムショップカード配布・設置について ・「献立交換」抽選会のふりかえりと、献立・ポスター掲示の確認
6/20	第52回 食セクション会議	・55号（献立交換号）の発刊に関する確認 ・56号記事内容検討（7月のイベント予定共有） ・継続確認事項（献立の見える化、カフェ営業、郷土料理シリーズについて） ・「けんこうつうしん」内容と発刊日の最終確認 ・法人ホームページ特設ページ記事確認（献立交換） ・コラボレーション企画プレゼンテーションに関する共有。
7/11	第53回 食セクション会議	・55号（献立交換号）の発刊に関する最終確認 ・57号記事内容検討（8月のイベント予定共有） ・継続確認事項（献立の見える化、カフェ営業、郷土料理シリーズについて） ・ショップカード配布先のリスト管理を確認
7/11	第1回 笑顔・食合同会議	11月に実施予定の笑顔・食セクションコラボレーション企画の内容を決定するため、5グループよりプレゼンテーションを行い、1企画「かつらむき

		むき！ちぎってちぎって！選手権」が選出。
8/15	第54回 食セクション会議	・58号記事内容検討（9月のイベント予定共有） ・継続確認事項（献立の見える化、カフェ営業、郷土料理シリーズについて） ・コラボレーション企画の進捗共有
9/19	第55回 食セクション会議	・59号記事内容検討（10月のイベント予定共有） ・継続確認事項（献立の見える化、カフェ営業、郷土料理シリーズについて） ・コラボレーション企画の進捗共有 ・サービス向上キャンペーン（SAY YO）について
10/10	第56回 食セクション会議	・60号記事内容検討（11月のイベント予定共有） ・継続確認事項（献立の見える化、カフェ営業、郷土料理シリーズについて） ・コラボレーション企画の進捗共有 ・「けんこうつうしん」の内容検討
10/10	第2回 笑顔・食合同会議	「かつらむきむき！ちぎってちぎって！選手権」の企画についての共有。
11/21	第57回 食セクション会議	・61号記事内容検討（12月のイベント予定共有） ・継続確認事項（献立の見える化、カフェ営業、郷土料理シリーズについて） ・コラボレーション企画のルール再確認、フードロスに関する確認 ・「けんこうつうしん」の内容・発刊日の検討・確認
11/26	かつらむきむき ちぎってちぎって選手権	・笑顔セクションとのコラボレーション企画開催
12/19	第58回 食セクション会議	・62号記事内容検討（1月のイベント予定共有） ・継続確認事項（献立の見える化、カフェ営業、郷土料理シリーズについて） ・コラボレーション企画のふりかえり ・「巨大ケーキでデコりんこ」ポスター、台紙、日程の検討・確認
1/16	第59回 食セクション会議	・63号記事内容検討（2月のイベント予定共有） ・継続確認事項（献立の見える化、カフェ営業、郷土料理シリーズについて） ・コラボレーション企画、次年度実施に関する共有 ・「巨大ケーキでデコりんこ」ポスター、台紙、日程の検討・確認（継続） ・サービス提供チームより、「25（ニコ）25（ニコ）」キャンペーンの共有
2/20	第60回食セクション会議	・64号記事内容検討（3月のイベント予定共有）

		・継続確認事項（献立の見える化、カフェ営業、郷土料理シリーズについて） ・コラボレーション企画、次年度実施企画の共有 ・「巨大ケーキでデコりんこ」進捗確認 ・「献立交換」抽選会の内容、クジ引き担当事業所確認
3/20	第61回食セクション会議	・65号記事内容検討（4月のイベント予定共有） ・継続確認事項（献立の見える化、カフェ営業、郷土料理シリーズについて） ・コラボレーション企画、次年度実施企画実行委員会 ・「巨大ケーキでデコりんこ」全事業所ふりかえり ・「献立交換」抽選会の企画書確認、抽選会以降のご利用者最終投票を含めた流れの検討・確認

（2）特記事項

- ・令和6年度4月から、みずきより新たな新メンバーが加入。
- ・4/23 料理ジャンルと食材をご利用者のクジ引きで決定する「献立交換大抽選会」を実施。
- ・6/5 足立ブロック、6/12多摩ブロックで「献立交換」を実施。
- ・2～3月 「巨大ケーキでデコりんこ」を法人内全10事業所で開催。
- ・広報誌「たのしくパクリんこ」を50号から63号を毎月1日に発刊。51号・55号は「巨大ケーキでデコりんこ」、「献立交換」の特集号として15日に発刊。
- ・「けんこうつうしん」を職員の健康診断の実施時期に合わせ、6月に「高血圧」をテーマにした2号、1月には「脂質」をテーマにした3号を発刊。
- ・Instagramによる1年間の投稿は92件。

<< 人財部 >>

1. 重点目標に対する評価

(1) 法人内で職員の見える化をすすめます。

事業計画で掲げた内容	実施状況
①労務セクションの立ちあげを行い、労務セクションをもとに法人の人財情報の管理を行っていきます。 ②令和6年度中の人事情報管理ソフト導入を目指します。	①9月まで準備会議を月1回で行い、10月より本格的に労務セクションとして稼働しています。 ②人事情報管理ソフトについては、労務セクション準備会議での検討で、法人内の労務管理の共有化を先にすすめ、早期での導入は行わない方向で話し合っています。
通期評価	今後に向けて
労務セクション会議の立ちあげにより、居住支援特別手当や、障害者雇用納付金関係の業務等、具体的な業務を通じて、労務にたずさわっている職員同士の交流の場となりました。各ブロック、エリアでそれぞれ取り組んできたことが、疑問や課題などを通じて共有されて、法人として一体的にすすんでいく下地となっています。また、労務関係の案件を労務セクションとして行うことで、進捗の確認や疑問点の確認などスムーズにすすめることができました。	今後は労務セクションとして、法人の人財情報をどのように統一、管理していくのか、また活用していくのが課題となっています。また、労務関係の補助金など情報収集と活用も法人として動いていければと思います。

(2) 定着に向けた取り組みの強化

事業計画で掲げた内容	実施状況
①職員表彰の定期開催および福利厚生への検討を行います。 ②ラフルサーベイの活用を具体的に検討していきます。	①4月の法人全体会にて、グッドスマイル賞の表彰を行いました。また、9月に第2回の投票を行い、11月の全体会にて表彰を行いました。また、新たな福利厚生への検討を行い、検診休暇の案を検討している所です。 ②9月と3月にラフルサーベイを実施しました。3月分の結果を人財部にて令和7年度分析を実験的にを行い、今後の検討をしていくこととなりました。
通期評価	今後に向けて
職員表彰のグッドスマイル賞は定期開催を行うことができます。投票数の増加を目指して、管理職などへのアプローチも行い、9月の投票では、これまでで最多の投票数になりました。しかし、3月の投票については、準備期間が短かった影響もあり、	グッドスマイル賞は、より盛り上げていくためにも、投票時期の取り組みを検討していくことになりました。福利厚生については、あらためてスケジュールを組んで取り組んでいきます。ラフルサー

9月の投票数を上回ることができませんでした。福利厚生については、具体的な案の作成までですんでいます。ラフルサーベイは9月、3月に実施し、100%近い返信がありました。各ブロック・エリアでは、管理職の共有を行いました。	ベイの活用については、数字で見えることの恐さを考えながら、まずは人財部にて分析を行っていきます。
--	--

(3) 多様なキャリア形成（高齢、外国人、障がい者など）に向けた共有。

事業計画で掲げた内容	実施状況
①各事業所で行っている、取り組みを共有し法人全体へとひろげていきます。	①高齢者、外国人、障がい者の人数をそれぞれのブロック・エリアごとに出しています。また、労務セクションにて各事業所の年代別の人数も採用ホームページ向けに作成しています。
②先駆的な取り組みを行っている事業所への見学を行います。	②令和6年度は具体的に取り組むことができませんでした。
通期評価	今後に向けて
必要に合わせて出てきた数字などを人財部で確認していました。各事業所の様子が数字で見られることを多少でも体感できる機会となりました。	人財戦略をたてていくために、具体的にどのように数字をつかっていくのかを決めていく必要があります。小さなところからでもすすめていきます。

(4) 人財部各チームとの協働をよりすすめていく。

事業計画で掲げた内容	実施状況
①法人合同の新職オリエンテーションの実施を軸にした、育成チームとの協働もすすめていきます。	①育成チームを中心に、採用オリエンテーション（※1）を1年とおして基本的に偶数月で行いました。8月については、採用者が少なかったこともあり開催しておりません。オリエンテーション推進会議を中心に項目ごとに複数の管理職を割りあてチームをつくり、割りあてた項目ごとに研修資料を作成し、採用オリエンテーションに臨んでいます。（※1 新職オリエンテーション→採用オリエンテーションに名称変更）
②多様なキャリア形成に向けた取り組みのとりまとめを軸にして、採用各チームと協働し、具体的な取り組みをすすめていきます。	②現在の採用状況を踏まえて、採用に特化したホームページを立ち上げるために、9月より、人財部、新卒採用チーム、キャリアアップ採用チームからひとを選びチームを組んで動きました。目標にしていた3/1法人ホームページにアップし、稼働しています。
通期評価	今後に向けて
オリエンテーションでは、各項目のチームごとに	人財戦略をたてていくために、具体的に

会議で内容をしっかりと検討したうえで、採用オリエンテーションに臨むことで、管理職のなかでも各項目のバージョンアップがすすんでいます。項目の内容についても、1年間行うことで、資料や研修時間など必要な見直しや、検討がすすみました。採用ホームページ作成については、キャリアアップ採用チームにコンサルでかかわってもらっている(株)感動画様や、法人ホームページ作成に携わっている未分離デザイン研究所様にも入ってもらいすすめました。短い準備期間のなかで、立ちあげのチームから他のチームへの依頼をかけ、進捗管理を行い、メンバー間での主体的なやりとりに課題が見える場面もありましたが、なんとか3/1のホームページアップをすることができました。ブラッシュアップ前提の開設になっており、少なくとも1年間は訂正変更をしっかりとっていくこととなりました。人財部のこれまでの採用（新卒採用、キャリアアップ採用）・定着（人事考課推進）・育成（育成）という軸での動きかたから、人財の環境にアプローチする部門である労務部門（人財部、労務セクション）と、人財に直接アプローチする人事部門（新卒採用、キャリアアップ採用、人事考課推進、育成）に変更し、令和7年度からは会議構成を改め、大きく2部門で考えていくことにしました。	どのように数字をつかっていくのかを決めていく必要があります。小さなところからでもすすめていければと思っています。採用オリエンテーションは、採用人数なども確認しながら、定期的に開催していきます。また、今後は管理職の幅広い項目の理解をすすめていくために、各項目検討のチームメンバー見直しも検討して行きたいと思っています。採用ホームページは、運用していくチームメンバーを、新卒採用・キャリアアップ採用の各チームから新たに選任しています。採用につながるホームページなるよう今後も採用の動きと絡めてみていく必要があります。 人財部として、福利厚生や、各チーム運営を中心に行ってきていましたが、チーム運営が安定してきたところで、人財部としてしっかり動くことができるようになる必要があると思っています。法人の人財戦略をしっかりとたてていける体制を考えていきます。
--	--

2. 活動報告

（1）実施状況

日付	活動（会議）名	内容
4/3	第1回 人財部会議 （人財部案件）	VISION2028 推進会議内容共有、グッドスマイル賞確認事項共有、新人職員オリエンテーション今後のすすめ方確認、労務セクションの発足に向けてスケジュール確認、福利厚生イベントについてスケジュール確認、各チーム案件確認
4/24	第2回 人財部会議 （各チーム案件）	各チーム報告、人財部として今年度「対話」をテーマとすることを確認
5/1	第3回 人財部会議 （人財部案件）	VISION2028 推進会議内容共有、グッドスマイル賞周知方法などの検討、確認。新人職員オリエンテーション進捗確認、労務セクションでの人財管理ソフト導入の検討延期、福利厚生イベント取り組み内容検討、各チーム案件確認

5/22	第4回 人財部会 (各チーム案件)	各チーム報告
5/28	第1回 労務セクション準備会議	自己紹介、セクションの役割の共有
6/5	第5回 人財部会議 (人財部案件)	VISION2028 推進会議内容共有。グッドスマイル賞 要項作成確認、新人職員オリエンテーション進捗 確認、労務セクション会議内容共有。福利厚生イベン ト取り組み内容検討、各チーム案件確認
6/25	第2回 労務セクション準備会議	定額減税、処遇改善手当、居住支援特別手当について。 超勤支給額の計算方法について、介護休業書式
6/26	第6回 人財部会議 (各チーム案件)	各チーム報告、福利厚生に関するリサーチ共有、採用 データ更新シートの検討
7/3	第7回 人財部会議 (人財部案件)	VISION2028 推進会議内容共有。グッドスマイル賞 副賞内容検討、採用オリエンテーション進捗確認、 労務セクション会議内容共有、福利厚生、検診休暇 (案)の検討、各チーム案件確認。
7/23	第3回 労務セクション準備会議	超勤の計算方法、育児介護休暇規程の申請書様式、 処遇改善令和5年実績報告、保険証について、みずき での有給管理方法の共有
7/24	第8回 人財部会議 (各チーム案件)	各チーム報告、採用に特化したホームページ作成
8/7	第9回 人財部会議 (人財部案件)	VISION2028 推進会議内容共有、人財部の「現在地 と将来像」を言語化、グッドスマイル賞ポスター確認、 採用オリエンテーション進捗確認、労務セクション 会議内容共有、福利厚生、検診休暇(案)の検討、各 チーム案件確認
8/27	第4回 労務セクション準備会議	ラフルサーベイ名簿、給与大臣のディスク管理、 居住支援特別手当に伴う超勤の計算方法、育児介護休 暇規程の申請書様式、最低賃金改正、保険証について、 退職共済事務、交通機関遅れによる遅刻の取り扱い
8/28	第10回 人財部会議 (各チーム案件)	各チーム報告、福祉のお仕事就職フォーラム参加に 向けた準備
9/4	第11回 人財部会議 (人財部案件)	VISION2028 推進会議内容共有、グッドスマイル賞 投票フォーム、発信文章確認、採用オリエンテー ション進捗確認、労務セクション会議内容共有、福利 厚生、休暇申請・報告書(案)確認、各チーム案件 確認、福祉のお仕事就職フォーラムページ進捗確認
9/24	第5回 労務セクション準備会議	ラフルサーベイ名簿、最低賃金改正について 各エリアブロックの課題共有
9/25	第12回 人財部会議 (各チーム案件)	各チーム報告、指導職も確認できるグーグルアカウン ト作成の検討

10/2	第13回 人財部会議 (人財部案件)	VISION2028 推進会議内容共有、グッドスマイル賞 実施状況確認、福利厚生、休暇申請・報告書(案) 確認、各チーム案件確認、福祉のお仕事就職フォーラ ムページ進捗確認、採用ホームページ作成費用検討、 新卒採用チーム採用パンフレット、費用他状況確認
10/22	第1回 労務セクション会議	居住支援特別手当の進捗と今後の動き、今後の労務 セクション、年末調整
10/30	第14回 人財部会議 (各チーム案件)	各チーム、セクション報告、採用ホームページ検討、 健康経営検討
11/6	第15回 人財部会議 (人財部案件)	VISION2028 推進会議内容共有、グッドスマイル賞 法人全体会に向けての確認、健康経営について検討、 各チーム案件確認、福祉のお仕事就職フォーラムペー ジ進捗確認、採用ホームページ進捗確認、新卒採用 チーム採用パンフレット、費用他状況確認、ラフル サーベイの活用イメージ共有、労災保険検討今後の すすめ方について
11/27	第16回 人財部会議 (各チーム案件)	各チーム、セクション報告、採用ホームページ進捗 検討事項確認、健康経営検討
11/29	第2回 労務セクション会議	居住支援特別手当の進捗、最低賃金引上げに向けた 中小企業、小規模事業者への支援事業、労務関連での 共有事項
12/10	第17回 人財部会議 (人財部案件)	VISION2028 推進会議内容共有、福利厚生検診休暇 スケジュール確認、健康経営についての検討、各チー ム案件確認、福祉のお仕事就職フォーラムページ参加 後の状況確認、採用ホームページ、コンセプト検討、 進捗確認、新卒採用チーム採用パンフレット、費用他 状況確認、多様なキャリア数字出し検討、労災保険 検討今後のすすめ方について
12/24	第3回 労務セクション会議	居住支援特別手当進捗確認、最低賃金引上げに向けた 中小企業・小規模事業者への支援事業、退職金共済 登録メールアドレス
12/25	第18回 人財部会議 (各チーム案件)	各チーム、セクション報告、指導職研修(健康経営) 検討、採用ホームページ進捗検討事項確認
1/7	第19回 人財部会議 (人財部案件)	労災保険、保険会社より説明。グッドスマイル賞進捗 確認。健康経営についての検討。各チーム案件確認。 採用ホームページ進捗確認、多様なキャリア数字出し 検討、次年度の事業計画に向けて共有
1/22	第20回 人財部会議 (各チーム案件)	各チーム、セクション報告、採用ホームページ進捗検 討事項確認、マネージャー会議での人財部報告確認

1/28	第4回 労務セクション会議	居住支援特別手当進捗確認 最低賃金引上げに向けた中小企業、小規模事業者への支援事業について、退職金共済登録メールアドレス、次年度事業計画について
2/5	第21回 人財部会議 (人財部案件)	VISION2028 推進会議内容共有、グッドスマイル賞進捗確認、福利厚生検診休暇内容検討、健康経営についての検討、各チーム案件確認、新卒採用チームLINE活用について、採用ホームページ進捗確認、多様なキャリア出てきた数字の確認
2/25	第5回 労務セクション会議	居住支援特別手当進捗確認、最低賃金引上げに向けた中小企業・小規模事業者への支援事業に、退職金共済オンライン手続きに移行後の状況共有、社員証の管理
2/26	第22回 人財部会議 (各チーム案件)	各チーム・セクション報告、健康経営コンサル費用検討、採用ホームページ進捗確認、人財部の今後の体制について検討確認
3/5	第23回 人財部会議 (人財部案件)	VISION2028 推進会議内容共有。グッドスマイル賞ふりかえり、福利厚生検診休暇内容検討、健康経営についての検討、各チーム案件確認、新卒採用チームLINE活用について、採用ホームページ今後の体制検討
3/25	第6回 労務セクション会議	居住支援特別手当進捗確認、退職金共済オンライン手続きに移行後の状況共有、ラフルサーベイ、返信状況確認、各事業所での課題共有
3/31	第24回 人財部会議 (各チーム案件)	各チーム・セクション報告、健康経営を取り入れるための指導職研修

(2) 特記事項

特になし

【新卒採用チーム/人財部】

1. 重点目標に対する評価

(1) 採用目標人数を獲得するために、採用サイトを利用した採用活動だけに頼らず、別のやりかたや手段について探り、新たな採用活動を見つけます。

事業計画で掲げた内容	実施状況
①採用活動の方法や手段について、学校や企業などから情報を収集します。	①学校訪問をした際、学校の就活スケジュール、学生の動向、説明会などの実施について情報収集を行っています。学内会社説明会の参加や外国人学生の就職状況について情報を得ています。

②情報を参考に新たな採用活動を立案します。	②法人から積極的にアプローチできる採用戦略を検討しました。採用状況や採用市場、学生の動向などの情報を参考に、これまでの活動にくわえ、広報活動に力を入れた活動に取り組みました。新規ナビサイトの利用、法人ホームページ内に採用ホームページを開設しました。スマホを使ったLINEなどのSNSの活用は引き続き準備をすすめていきます。
③立案された採用活動を試行します。	③次年度の採用活動における課題の洗い出しを行いました。具体的行動計画に落とし込みを行っていきます。
通期評価	次期への課題
年間スケジュールを予定通り実施していますが、令和5年度と比べ、さらに採用獲得の困難さに直面し、令和6年度の新卒者獲得はできませんでした。これまでの採用サイトを主とした採用活動では、新卒採用者を獲得できない現状があり、採用戦略の変更を行っています。今後、広報活動に力をいれて取り組むこととし、積極的に発信可能なナビサイトへの変更や採用ホームページの開設の他、スマホを使ったLINEなどSNSの活用やチラシ・パンフレット作成の検討をすすめました。	新規ナビサイトや採用ホームページは開設したばかりですが、戦略変更における新規サービスの利用導入による利用効果と費用を再考し、導入の提案をしていきます。

(2) 雇用対象者の拡大を検討するとともに、法人やブロック、事業所の特性（魅力）をいかした採用活動を立案し実施します。

事業計画で掲げた内容	実施状況
①法人や事業所などの特性（魅力）を見える化します。	①職員に対するアンケートの実施を予定していましたが、実施しませんでした。採用ホームページにおいては、数字からみる法人についてグラフを使用し見える化を行いました。
②ひと、環境、事業所、サービス、イベントなど、収集した情報の活用方法を検討します。	②各事業所でのイベントスケジュールに合わせたプログラムを計画し実施しています。
③資源を活用した採用活動体制づくりをすすめます。	③サイトなど、採用サービスの資源情報の収集をし、現在の採用活動の体制の見直しを行いました。採用担当としてのスキル向上のため、研修イベントにも参加し、戦略立案時の参考にしています。
④採用対象者拡大を見据えた活動準備をはじめます。	④第2新卒、既卒を対象としたナビサイトの利用をはじめました。高校生や特別技能、外国人採用における対応について、ハローワークや送りだし

	機関による企業説明会に参加しています。
通期評価	次期への課題
つながる学生数の大幅な減少があり、会社説明会への参加者数も減少しています。早期内定者を含む内定者の辞退もあり、採用獲得ができませんでした。これまでの活動を継続し、いま以上の採用活動費をかけても獲得困難が予想されるため、費用も含めて採用戦略の検討をはじめました。学校訪問や会社説明会において外国人採用について採用状況について問われることもあり、これまで受け入れ体制が整っていないことなどを理由とし積極的な採用活動を行っていませんでしたが、外国人学生の採用について検討していく必要を感じています。	新卒採用は法人が強くしなやかな組織としてあり続けるための未来を担う人財の確保であることと認識しています。質の高い人財と採用数の獲得のため、日常的にきめ細やかな対応が必要であり、令和6年度うまくいった手法が令和7年度うまくいくとは限らず、定型業務化することができない業務です。法人にあった手法を模索しつつづけていかなければならず、情報収集のほか、検討や企画、調整など、さらなる業務量の増加は予想ができます。新卒採用チームの働き方について、戦略だけでなく体制や活動内容について見直しが必要であると考えます。

2. 活動報告

(1) 実施状況

日付	活動(会議)名	内容
4/12	戦略会議	サイト利用状況 活動状況 イベント予定の確認 2025卒：辞退1名 26卒：受諾待ち2名 2026卒：オープンカンパニー&キャリア教育仕事体験、インターンシップ先行掲載 GWまで案内及び誘導、各拠点プログラムと日程設定 外国人採用について関連情報の共有、内定者へのアプローチ方法、オープンカンパニー等の日程掲載、学校訪問の調整、対応チーム内の役割分担、人財部へ更新項目の管理について
4/25	新卒採用チーム会議	サイト利用状況 活動状況 イベント予定の確認 2025卒：説明会1名参加 キャンセル1名 再調整1名、2026卒：0名 入職者定着状況、参加イベント対応者確定、入稿作業 入社式、配属前研修のふりかえり報告、スカウト、DM発注作業、追加入稿作業、内定者へのアプローチ方法、オープンカンパニー等の日程掲載、学校訪問進捗、チーム内の役割分担、更新項目管理、採用チラシ、パンフレットの作成、イベント物品の購入、実習生の対応
5/17	戦略会議	サイト利用状況 活動状況 イベント予定の確認

		2025卒：説明会1名 予約1名 2026卒：先行掲載の反応厳しい 2026卒 オープンカンパニー&キャリア教育仕事体験、インターンシップ先行掲載 入社先を決める傾向あるこの時期の対応 5/20 学内合同説明会に参加、11月福祉のお仕事相談会への参加を検討、LINE の利用、オープンカンパニー等の掲載修正、学校訪問、訪問シートの作成、会計管理について、更新項目のシート作成は人財部にて運用、情報収集、営業報告、採用サイトのバナー作成 7/30 FACE to FUKUSI 採用勉強会申込、夏のインターンシップの日程調整
5/27	新卒採用チーム会議	サイト利用状況 活動状況 イベント予定の確認 2025卒：キャンセル3名 辞退2名 内定者アプローチ方法 入職者定着状況 5/20 学内合同説明会に参加ふりかえり 6/23 インターンシップイベント担当割りふり入稿作業事前打合わせ調整、スカウト、DM発送作業、オープンカンパニー等の入稿状況の確認、LINE アカウントの取得、SNS 検討チームで開始、学校訪問、訪問シートの作成、会計管理について
6/17	戦略会議	サイト利用状況 活動状況 イベント予定の確認 2025卒：キャンセル2名 2026卒：サイトは好調 サイト修正、更新 2026卒 オープンカンパニー&キャリア教育仕事体験、インターンシップ先行掲載、入社先を決める傾向あるこの時期の対応、 5/20 学内合同説明会参加、11月福祉のお仕事相談会への参加申し込み9月開始、 2025卒採用の今後の打ち手について 自ホームページ記事更新スケジュールの年間予定の作成と活動、報告内容の検討、チームの動きがわかる報告の仕方、夏のインターンシップについて Google カレンダーへの入力、ナビサイトの活用、情報収集、営業報告、 7/30 FACE to FUKUSHI 採用勉強会参加者選定
6/24	新卒採用チーム会議	サイト利用状況 活動状況 イベント予定の確認 2025卒：キャンセル2名 2026卒：仕事体験3日間予約

		入職者定着状況、6/23 インターンシップイベント参加ふりかえり、イベント出展セット購入検討、スカウト、DM 発送作業、オープンカンパニー等の入稿状況確認、ホームページ更新スケジュール、2025卒への今後の方針、ホームページの採用窓口の創設、SNS 使用について、記事更新スケジュールの年間予定の作成と活動、報告内容の検討、チームの動きがわかる報告の仕方、夏のインターンシップについて Google カレンダーへの入力、ナビサイトの活用
7/19	戦略会議	サイト利用状況 活動状況 イベント予定の確認 2025卒：会社説明会 1 名 キャンセル 1 名 2026卒：仕事体験 1 名 OC1 名 合同会社説明会イベント申し込み、学校訪問、新項目、夏のインターンシップ、次年度以降の新卒、採用戦略について、情報収集、営業報告
7/22	新卒採用チーム会議	サイト利用状況 活動状況 イベント予定の確認 2025卒：会社説明会 1 名 キャンセル 1 名 2026卒：仕事体験 1 名 合同会社説明会イベント申し込み
8/8	戦略会議	令和7年度以降の新卒採用戦略について 利用サービスの見直し、新たなサービスの提案
8/16	戦略会議	サイト利用状況 活動状況 イベント予定の確認 2025卒：会社説明会 1 名 選考会希望 1 名 2026卒：仕事体験 3 名 OC1 名 福祉のお仕事就職フォーラム→キャリアで申し込み 令和7年度以降の採用戦略について、新規利用サービスの情報収集、営業報告
8/19	戦略会議	令和7年度以降の新卒採用戦略について、利用サービスの見直し、サービス情報の共有、実施に向けた手続きの確認
8/26	新卒採用チーム会議	サイト利用状況 活動状況 イベント予定の確認 2025卒：会社説明会、選考会 1 名 2026卒：仕事体験 5 名 OC2 名 入職者定着状況、出身大学への訪問計画 企業×学校関係者就職情報交流会参加申し込み
9/20	戦略会議	サイト利用状況 活動状況 イベント予定の確認 2025卒：会社説明会 1 名 内定受諾待ち 1 名 2026卒：仕事体験 3 名 オープンカンパニー2 名 福祉のお仕事就職フォーラム入稿作業・参加者選定 合同会社説明会申し込み、採用戦略の変更に伴う手続

		きの確認、採用サイトの利用中止、情報の整理、新規利用サービスの提案、採用ホームページへの新卒採用チームからのオーダーまとめ、デバイスの購入契約、選考直結10月開始のインフォメーション、イベント参加セットの購入対応者、採用関連の営業受付対応の基準設定について、人材紹介会社からの営業は外し、イベント情報を収集
9/23	新卒採用チーム会議	サイト利用状況 活動状況 イベント予定の確認 2025卒：会社説明会、選考会 0名 2026卒：仕事体験2名 オープンカンパニー2名 入職者定着状況、出身大学への訪問計画 合同説明会イベント申し込み（令和6年度最終） 福祉のお仕事オンラインの就職フォーラム参加希望者対応割振り、内定式の延期、内定式計画担当決め
10/18	戦略会議	サイト利用状況 活動状況 イベント予定の確認 2025卒：内定辞退1名 2026卒：仕事体験1名 選考会希望1名 福祉のお仕事オンラインの就職フォーラム参加準備 参加イベントの確認
10/28	新卒採用チーム会議	サイト利用状況 活動状況 イベント予定の確認 入職者定着状況、イベント申し込み落選、福祉のお仕事オンラインの就職フォーラム参加準備、参加イベントふりかえりと実施報告、ナビサイトの変更準備、イベント物品の購入検討、SNSの活用について、チラシ、パンフレットの作成について
11/15	戦略会議	サイト利用状況 活動状況 イベント予定の確認 ナビサイトアクセス数の状況確認 2026卒：選考会1名、仕事相談会への参加準備 今後の会議のすすめ方、検討項目の洗い出しなど、意見交換、情報収集、営業報告
11/25	新卒採用チーム会議	サイト利用状況 活動状況 イベント予定の確認 2026卒：選考会実施 内々定1名、入職者定着状況、イベント参加時使用資料作成、学校訪問、ナビサイト情報更新、物品購入の検討、SNS活用の検討、チラシ・パンフレットの内容検討、法人ホームページ記事の作成、採用ホームページ開設の説明
12/20	戦略会議	サイト利用状況 活動状況 イベント予定の確認 2025卒：会社説明会1名 キャンセル1名 新規ナビサイトの導入準備と利用説明、計画立案、LINEの活用の検討、福祉の仕事フォーラムの参加、

		採用ホームページ、開設の進捗確認、ホームページ記事の作成、マニュアル作成計画、年間計画まとめ、採用活動のおける、課題の抽出、学校訪問、情報収集、営業報告
12/23	新卒採用チーム会議	サイト利用状況 活動状況 イベント予定の確認 福祉フォーラムの参加状況と対応分担の確認、学校訪問、訪問時の情報の共有、令和7年度の戦略（新規ナビサイトの提案）説明、法人ホームページの記事作成と今後使用できる写真の収集法の検討、採用活動における課題、意見交換、課題整理（令和7年度の取り組みに反映させていく）
1/9	戦略会議	サイト利用状況 活動状況 イベント予定の確認 2025卒：会社説明会参加者調整1名 2026卒：内々定者のイベント参加 新規ナビサイトの導入準備、法人ページの作成、採用ホームページ開設計画の作成（インタビュー写真、記事など）
1/27	新卒採用チーム会議	サイト利用状況 活動状況 イベント予定の確認 2025卒：会社説明会1名 2026卒：内々定者のイベント参加 新規ナビサイトの導入決定、利用開始までの準備、採用ホームページ開設準備 法人ホームページ記事作成、マニュアル作成の必要性の確認、令和7年度の取り組み項目の候補あげ
2/21	戦略会議	サイト利用状況 活動状況 イベント予定の確認 2025卒：見学、エントリー希望2名 検討項目の進捗確認
2/24	新卒採用チーム会議	サイト利用状況 活動状況 イベント予定の確認 2025卒：見学1名 入社式の実施計画作成、課題項目の進捗状況、令和7年度事業計画（案）作成
3/21	戦略会議	サイト利用状況 活動状況 イベント予定の確認 2025卒：会社説明会1名 2026卒：内々定者のイベント参加 採用HPの開設、ナビサイト、マニュアル作成の進捗状況の確認、外国人採用の検討、学校訪問の準備
3/24	新卒採用チーム会議	サイト利用状況 活動状況 イベント予定の確認 2025卒：会社説明会1名 2026卒：内々定者イベント参加 入職者定着状況、出身大学への訪問計画、検討項目の進捗状況悪く、まずスケジュール作成を行うこと。

（２）特記事項

・採用活動の戦略変更についての検討

これまで、大手採用サイトを主にした採用活動を行ってきました。登録者数が多く、福祉教育への求人学生だけでなく、他業種への求人を求める学生などに対しても法人の情報を発信し、多くの学生とつながることの期待をもって利用をしてきました。登録者数が多いため利用企業も多く、そのなかから法人につながる数字は減少してきている状況がありました。要因として、福祉に対する興味のある学生、求人を求める学生が少なくなっているだけでなく、コロナ禍が明け、求人再開や賃金増の企業が増加しているなどがあげられます。

学生の売り手市場となっているところ、法人の知名度は決して高くなく、他社と比べ特出する魅力、ひきつける発信もできていません。大手採用サイト内で大企業と並び埋もれてしまう戦術ではなく、まずは法人を知ってもらう、知名度をあげる戦術をとっていくことを考えました。

現在の学生の情報収集方法はスマホを利用したものであることから、LINE など SNS に強い採用サイトの利用や他社に比べ見劣りせず手にもとってもらえるもの、外部の目からみた法人の魅力を表現、デザインされたチラシやパンフレットの作成を期待できる専門家への発注を検討しました。費用面など懸念する点はありますが、使用するサービスについて精査し、作成スケジュールを再考し、令和7年度からの運用を目標にうごいていきます。

【キャリアアップ採用チーム／人財部】

1. 重点目標に対する評価

（１）キャリアアップ採用（中途採用）について、昨年度より、法人全体で統一的に取り組む体制を確立します。

事業計画で掲げた内容	実施状況
①足立ブロックで培ってきたキャリアアップ採用（中途採用）の手法やノウハウの法人全体での共有をすすめます。 ②足立ブロック、多摩ブロック、狛江エリアそれぞれにおける採用課題を抽出し、法人全体で共有します。 ③採用コンサルタントを活用しながら採用戦略を適宜更新し、ハローワーク等の公的機関、法人ホームページ、有料求人採用ページ（スカウトメールなど）、求人広告やチラシ、人材紹介会社等の民間営利企業など、多様な求人媒体や採用手法のなかから時宜にあったものを選択・実行します。	①②昨年、月２回の会議体制をより効率的なものとし、法人全体で採用活動状況が共有できる体制にしましたが、さらに課題の抽出が明確にできるよう、ブロック単位、全体共有、新たな取り組み、新規事業の採用戦略など、カテゴリーで時間を整理し活動しました。新規事業への活動を軸に、新規事業の人財確保と採用に関する、法人全体での一定の考え方の共有はできたかと思います。 ③採用ホームページ作成のための別チームを立ち上げ、採用コンサルタントやホームページ作成者はもちろん、新卒採用チームや情報戦略チームと協働しながら、新たな自前の採用戦略をすすめました。３月初旬には採用ページも完成し運用を始めています。今後はさらにブラッシュアップし、採用の要として機能できるように整えます。

④それにより、職員紹介手数料などの採用経費を削減し、自社直接採用の比率を高めます。	④法人全体としても紹介手数料削減を意識し、実際に削減につながっています。
通期評価	今後に向けて
景気回復の傾向とともに、福祉人財の担い手の減少は、身をもって感じる1年でした。そのようななかで、自社採用や多様な媒体をどのように活用していくのか、継続課題で取り組んでいます。11月開設の新規事業であったこまエリアの「えだまめ・やまぼうし」に必要な採用活動を軸に、採用への共通課題と捉えながら、採用コンサルタントとともにすすめました。また、新卒採用チームも含め、新しい採用ホームページの作成も行っています。その他、行政が企画する就職相談会への参加、外部の福祉フォーラムへの参加、福祉チャレンジ職場体験事業、介護職員就労促進事業など、キャリア採用チームとしての新しい実働的な動きを模索しながら取り組んでいます。新規事業における採用についても、一定の成果はありましたが、今後の課題も見えてきています。	継続課題ですが、求人活動を①ハローワークの活用、②外部の求人媒体の活用、③ホームページ等の自社媒体の整え、④立て看板（近隣住民の方々に対する）での求人採用など、その対策や体制フローを分けて考え、活動しています。特に③④の自社媒体の整え等を軸にすすめ、新しい採用ホームページが完成し運用しています。昨年度の新規事業の採用活動への取り組みも一旦落ち着き、節目となったため、令和7年度は、新年度よりキャリアアップ会議のありかたを以下のように変え取り組みたいと思います。 ・人が少なくなり人が採用できなくなるなかで、本会議の設置目的を情報/戦略共有をする場とし外国人採用など法人として人財確保の戦略を検討する ・採用のひとつひとつを丁寧にする ・気づきや相談ができる場になる。 ・事務作業含め、法人全体ですすめ効率化を図る

（2）外国人介護職の採用など、多様な働き手・働き方の拡充をします。

事業計画で掲げた内容	実施状況
①外国人介護職の採用人数を増やすために、在留資格ごとの採用方法（手順や過程）を探っていきます。 ②足立ブロック、多摩ブロック、狛江エリアそれぞれで外国人採用に関する情報を共有し、それぞれの特性に合わせた外国人採用に取り組めます。 ③法人内に勤務している外国人スタッフのコミュニティからの採用について、該当スタッフと情報を共有し助言を得ます。 ④外国人介護職のほかにも、障がい者雇用、シニア人財採用、主婦（夫）層採用など、	下半期の会議開催時に、外国人の登録支援機関として運営されている会社の説明を受ける機会を設けるなど少しずつ取り組めるようにしています。例えば、特定技能外国人を採用するにあたり、ネックになっていた登録支援機関への支払いが無用のパターンもあり、紹介手数料のみが必要で通訳などは個別で料金がかかる仕組みです。その他の要件も踏まえ、受け入れへの体制づくりおよび条件の整えなど、各エリアではすすめていますが、法人全体での具体的な戦略や共有には、十分に組み立てていないのが現状です。

多様な求職者を採用できるよう、短時間労働、資格取得支援制度やジョブコーチの活用ほか、法人内外において積極的な取り組みを行います。	
通期評価	今後に向けて
ブロックやエリアでは、各々ですでに必要な対応を行っていますが、進み方、意識や考え方には差も生じているのが現状です。取り組みが必要と認識していますが、具体的な活動につながるまでには至っていません。	各エリアでも必要な求人活動を行いながら、成果を出し、法人全体でも具体的な動きにつながるよう取り組まなくてはならないと思っています。

2. 活動報告

(1) 実施状況

4/9 4/23	キャリアアップ採用チーム会議	採用状況の確認、今後の採用戦略（求人体制づくり、求人媒体の使用方法、HPの活用）、職員座談会企画
5/14 5/28	キャリアアップ採用チーム会議	採用状況の確認、今後の採用戦略（求人体制づくり、求人媒体の使用方法、HPの活用）、職員座談会企画
6/11 6/25	キャリアアップ採用チーム会議	採用状況の確認、今後の採用戦略（求人体制づくり、求人媒体の使用方法、HPの活用）、職員座談会企画
7/9 7/23	キャリアアップ採用チーム会議	採用状況の確認、今後の採用戦略（求人体制づくり、求人媒体の使用方法、HPの活用）、職員座談会企画
8/13 8/27	キャリアアップ採用チーム会議	採用状況の確認、今後の採用戦略（求人体制づくり、求人媒体の使用方法、HPの活用）、職員座談会企画
9/10 9/24	キャリアアップ採用チーム会議	採用状況の確認、今後の採用戦略（求人体制づくり、求人媒体の使用方法、HPの活用）、職員座談会企画
10/8 10/22 10/22	キャリアアップ採用チーム会議 キャリアアップ座談会	採用状況の確認、今後の採用戦略（求人体制づくり、求人媒体の使用方法、HPの活用）、職員座談会企画
11/12 11/26	キャリアアップ採用チーム会議	採用状況の確認、今後の採用戦略（求人体制づくり、求人媒体の使用方法、HPの活用）
12/10 12/24	キャリアアップ採用チーム会議	採用状況の確認、今後の採用戦略（求人体制づくり、求人媒体の使用方法、HPの活用）
1/14 1/28	キャリアアップ採用チーム会議	採用状況の確認、今後の採用戦略（求人体制づくり、求人媒体の使用方法、HPの活用）
2/11 2/25	キャリアアップ採用チーム会議	採用状況の確認、今後の採用戦略（求人体制づくり、求人媒体の使用方法、HPの活用）
3/11 3/25	キャリアアップ採用チーム会議	採用状況の確認、今後の採用戦略（求人体制づくり、求人媒体の使用方法、HPの活用）

(2) 特記事項

- ・キャリアアップ座談会 10/22（火）14：30～16：00 実施「家庭と仕事の両立」
さくらかえて職員5名（入居支援科、地域支援科、相談支援科、包括、管理課）
→発信ターゲット：30代～40代女性職員
→目的：家庭のある求職者にむけてのメッセージづくり
→テーマ：家庭と仕事の両立
→ターゲット層のニーズ：家庭と仕事の両立ができるのか？
→内容：家庭と仕事のバランスがとれている

【人事考課推進チーム／人財部】

1. 重点目標に対する評価

(1) 職員エンゲージメントの向上～働きがいのある会社×自分の居場所のある会社

事業計画で掲げた内容	実施状況
① i（働きがいのある会社）× ii（自分の居場所のある会社）の度合いの把握と分析 ストレスチェック（ラフルサーベイ）や働きやすい福祉の職場宣言事業、あるいは求める人財像の5項目のセルフチェックなどをおして、i × ii（職員エンゲージメント）の把握と分析を行います。 ②キャリアパスや求める人財像を軸とした人事考課制度の安定運用。公平で正当評価にもとづく、「育成」に重点を置いた人事考課が、納得感をもって行われるよう、人事考課に関する研修等を継続して行います。 ③福利厚生の整備と充実	①ストレスチェック結果の活用については法人経営会議および人財部でその検討が行われました。求める人財像の5項目のセルフチェックは、下半期に実施にむけた検討を行いました。 ②令和6年度も一次考課者ふりかえりや面談（対話）をテーマにしたフォローアップ研修を行いました。 ③福利厚生の整備と充実については、人財部で検討が行われました。
通期評価	今後に向けて
令和6年度も引き続き、育成に重点を置いた、キャリアパスにもとづく人事考課の実施に取り組みしました。具体的には、考課者を対象に、一次考課者ふりかえりやフォローアップ研修をそれぞれ年2回ずつ行い、また人事考課や面談を介した人財育成に取り組みしました。そのなかで、考課者の視点や目線あわせがすすみました。	今後の課題は、キャリアパスだけでなく、理念や求める人財像をふまえた人事考課をすすめることです。求める人財像5項目を五角形の頂点にした自己評価（セルフチェック）を導入します。また人事考課の目線合わせをすすめるため、被考課者を対象にした研修を実施します。

(2) 法人内外での多様な経験～多様なキャリア形成と新たなチャレンジができる環境

事業計画で掲げた内容	実施状況
①法人内外での多様な経験を可能にする基盤整備 - 法人職員のデータベース作成…入社日、配属歴、取得資格、参加プロジェクト、外部活動歴など。 - 異動計画の策定…異動キャリア形成についての意向アンケートの活用など。 - 法人内外での多様な経験を可能とする多様な勤務形態の検討。	①異動キャリア形成についての意向アンケートを1月に行いました。法人職員のデータベース作成や多様な勤務形態の検討については、人財部内（あるいは労務セクション）での取り扱いとなりました。
通期評価	今後に向けて
VISION2028の進展により、労務セクションが6月より発足しました。人財部の機能分化および機能強化に沿って、法人内外での多様な経験を可能にする基盤整備については、人財部および労務セクションがその役割を担うことになります。	この目標については、人財部および労務セクションが中心となって取り組みます。

2. 活動報告

(1) 実施状況

日付	活動(会議)名	内容
4月	人事考課	令和5年度下半期および総合考課（～5月）
5/24	第1回人事考課推進チーム会議	人財部会議内容共有（採用オリエンテーションの人事考課パートについて打ち合わせ）、令和5年度下半期人事考課および総合考課のふりかえり共有、一次考課者ふりかえりの日程および内容の確認、令和6年度人事考課スケジュールの確認、令和5年度事業報告の内容共有
6月	一次考課者ふりかえり	各拠点で実施。狛江10名（6/6）、みずき21名（6/10・14）、足立11名（7/2・4）
6/28	第2回人事考課推進チーム会議	人財部会議内容共有、令和5年度下半期人事考課および総合考課の進捗共有、一次考課者ふりかえりの共有、考課者フォローアップ研修の検討
7/26	第3回人事考課推進チーム会議	人財部会議内容共有、令和5年度下半期人事考課および総合考課の進捗共有、一次考課者ふりかえりの共有、令和6年度人事考課スケジュールの確認、スタートアップ研修の実施見込の確認、考課者フォローアップ研修の検討、9/4VISION2028 マネージャー会議の打ち合わせ

8/23	第4回人事考課推進チーム会議	人財部会議内容共有、令和6年度人事考課スケジュールの確認、考課者フォローアップ研修（面談（対話）をテーマにプログラム検討、VISION2028 マネージャー会議の打ち合わせ（人財部全体における自チームの位置づけと役割について意見交換）
9/18 9/20	考課者フォローアップ研修	面談（対話）をテーマにオンラインで3拠点をつなぎ実施。狛江9名、みずき19名、足立12名
9/27	第5回人事考課推進チーム会議	人財部会議内容共有、一次考課者ふりかえり（下半期）の日程確認、令和6年度人事考課スケジュールの確認、スタートアップ研修の実施見込の確認、考課者フォローアップ研修のふりかえり、異動キャリア形成についてのアンケート打ち合わせ
10月	人事考課	令和6年度上半期考課（～11月）
11/22	第6回人事考課推進チーム会議	人財部会議内容共有、令和6年度上半期人事考課のふりかえりおよび進捗共有、一次考課者ふりかえりの日程および内容の確認、令和6年度人事考課スケジュールの確認、スタートアップ研修の実施見込の確認、異動キャリア形成についてのアンケート打ち合わせ、令和6年度上半期事業報告の内容共有、採用オリエンテーションの講師予定確認
12月 ～1月	一次考課者ふりかえり	各拠点で実施。足立11名（12/3・5）、みずき18名（12/12・13）、狛江9名（1/6）。
12/27	第7回人事考課推進チーム会議	人財部会議内容共有、一次考課者ふりかえりの内容共有、令和6年度人事考課スケジュールの確認、スタートアップ研修の実施見込の確認、異動キャリア形成についてのアンケート準備、考課者フォローアップ研修の検討、令和7年度事業計画の検討、採用オリエンテーションの講師予定確認
1月	異動キャリア形成についてのアンケート	常勤職員を対象に実施（1/15～1/31）
1/24	第8回人事考課推進チーム会議	人財部会議内容共有、一次考課者ふりかえりの内容共有、評価面談シートエクセルの共有、スタートアップ研修の実施見込の確認、異動キャリア形成についてのアンケート実施状況の共有、考課者フォローアップ研修の検討、令和7年度事業計画の検討、採用オリエンテーションの講師予定確認、2/5 VISION2028 マネージャー会議の打ち合わせ
2/19 2/21	考課者フォローアップ研修	一次考課者と二次考課者の対話をテーマにオンラインで3拠点をつなぎ実施。狛江9名、みずき20名、足立12名。

2/28	第9回人事考課推進チーム会議	人財部会議内容共有、令和7年度人事考課スケジュールの確認、スタートアップ研修の実施見込の確認、考課者フォローアップ研修のふりかえり、採用オリエンテーションの講師予定確認
3/28	第10回人事考課推進チーム会議	人財部会議内容共有、令和7年度人事考課スケジュールの確認、スタートアップ研修の実施見込の確認、令和7年度事業計画の実施内容について検討、採用オリエンテーションの講師予定確認

(2) 特記事項

特になし

【育成チーム／人財部】

1. 重点目標に対する評価

(1) 採用オリエンテーションを法人全体で継続かつ定期的に実施できるようにします。ふりかえりとして新人合同研修会の開催をします。

事業計画で掲げた内容	実施状況
①法人全体での実施とし、年6回定期開催します。 ②オリエンテーション後、2ヶ月以上経過した段階で新人合同研修会を受講し、ふりかえりの研修とします。同期とのつながりを感じ、意見交換の場をつくります。 ③採用オリエンテーション項目は管理職が管理し実施します。(責任と能力開発)	・6月10月12月2月に開催しました。※8月は参加者が少数だったため未開催でした。 ・4月10月に開催しました。指導職がこの研修内で一部パートの講師を担いました。 ・管理職がグループに分かれてパート毎の内容の見直し・改訂、講師を担当しました。資料については概ね完成し、管理職による講師担当も一巡しています。
通期評価	今後に向けて
・採用オリエンテーションの内容が固まり、定期開催が形となりました。運営する育成チームの議事進行や会場設営・通信設定なども定着しました。 ・採用オリエンテーションと新人合同研修会で重複していた項目について整理しました。 ・管理職によるパート別の打ち合わせ、資料作成をとおしてブロックを超えたコミュニケーションがされるようになりました。 ・令和7年度の新人合同研修会の内容を、採用オリエンテーション受講者を前提として見直しを行いました。	・採用オリエンテーションをはじめとした各種研修は、法人職員として法人理念や求める人財像などを理解し、実践するうえで大切な学びの場となるように、更なるブラッシュアップをしていきます。 ・新人合同研修会では参加職員の交流が活発になるように、ボッチャなどの交流型の企画も検討していきます。 ・管理職によるパート別の項目についてメンバーの入れ替えを検討していきます。担当パートを替えることで理解が

	深まるとともに管理職間のコミュニケーションが活発になることを目的としています。
--	---

(2) キャリアパスにもとづき、各階層別研修が揃い受講できる体制を整えます。

事業計画で掲げた内容	実施状況
①各階層別の研修を受講することで、知識向上と求められていることを理解します。 ②キャリアアップのための要件とし、階層別研修を受講することで新たな目標、責任と自覚を学びます。	・新人合同研修会、一般職中級上級合同研修会を予定どおり開催しました。 ・「求める人財像」の受講履歴の管理を始めました。 ・指導職研修について見直しを行いました。「健康経営」の視点を法人に取り入れるにあたり管理職のサポートのもと、実務を担う形での研修内容を組み立てています。
通期評価	今後に向けて
・採用オリエンテーション、新人合同研修会、一般職中級上級合同研修会で法人理念、基本方針、求める人財像を繰り返し受講し、確認することで日々の業務での実践につながる学びが得られました。一般職中級上級合同研修会ではフィードバック研修を行うことでそれぞれが自分の「求める人財像」を他者に伝えることができました。 ・一般職初級の研修について具体的な進展はありませんでしたが他階層研修との内容やスケジュール等について検討を重ねました。	・一定程度整った採用オリエンテーションですが引き続きブラッシュアップをしていきます。 ・一般職初級の研修については引き続き、新たに創設するかも含め検討します。 ・指導職研修の内容を昨年度以前とは変えて法人に新たに取り入れる「健康経営」についての課題に取り組んでいきます。

(3) OJTの仕組みを理解する。育成の仕方を学ぶ機会をつくります。

事業計画で掲げた内容	実施状況
①プリセプター制(チューター制)の仕組みを理解して事業所で活用できるようにします。 ②教える側、教わる側がともに成長できるものにしていきます。	・一般職中級上級合同研修会で「中堅職員におけるOJTのすすめ方」の講義を行いました。
通期評価	今後に向けて
・一般職中級上級合同研修会で組まれている以外は実施できていません。	・階層別の研修の整理をする中でOJTの仕組みを理解する機会をどのような形でつくっていくか検討します。(既存の階層別研修のいずれかに組み込むのか、別に組むのか、現状のままとするのか等)

2. 活動報告

(1) 実施状況

日付	活動(会議)名	内容
4/15	新人合同研修会 指導職研修 第44回 育成チーム会議	新人合同研修会… 足立ブロック：9名 多摩ブロック：7名 指導職研修：新人合同研修会内で研修講師を担う 開催場所：さくら、みずき 会議…新人合同研修会のふりかえりおよび反省
5/20	第45回 育成チーム会議	・指導職研修ふりかえりの共有、今後のすすめ方確認 ・オリエン推進会議の進捗共有 ・新人合同研修会（10月）の内容確認 ・一般職中級上級合同研修会の内容確認 ・次期の指導職研修の内容検討
6/12	採用オリエンテーション	採用オリエンテーション…足立ブロック：16名 多摩ブロック：3名 開催場所：さくら、みずき
6/17	第46回 育成チーム会議	・指導職研修ふりかえりの共有、今後のすすめ方確認 ・オリエン推進会議の進捗共有 ・新人合同研修会（10月）の内容確認 ・一般職中級上級合同研修会の内容確認 ・次期の指導職研修の内容検討
7/15	第47回 育成チーム会議	・指導職研修ふりかえりの共有、今後のすすめ方確認 ・オリエン推進会議の進捗共有 ・新人合同研修会（10月）の内容確認 ・一般職中級上級合同研修会の内容確認 ・次期の指導職研修の内容検討
7/17	一般職中級上級合同研修会	一般職中級上級合同研修会 …足立ブロック：5名 多摩ブロック：6名 開催場所：さくら、みずき、こまえ
8/19	第48回 育成チーム会議	・指導職研修ふりかえりの共有、今後のすすめ方確認 ・オリエン推進会議の進捗共有 ・新人合同研修会（10月）の内容確認 ・一般職中級上級合同研修会の振り返りおよび反省 ・次期の指導職研修の内容検討
9/16	第49回 育成チーム会議	・指導職研修ふりかえりの共有、今後のすすめ方確認 ・オリエン推進会議の進捗共有 ・新人合同研修会（10月）の内容確認 ・次期の指導職研修の内容検討
4月～ 9月	指導職研修	4/15、10/21 新人合同研修会内で研修講師を担う

10/9	採用オリエンテーション	採用オリエンテーション …足立ブロック：3名 多摩ブロック：9名 開催場所：さくら、みずき
10/21	新人合同研修会 指導職研修 育成チーム会議	新人合同研修会 …足立ブロック：11名 多摩ブロック：3名 開催場所：さくら、みずき 指導職研修：新人合同研修会内で研修講師を担う 会議…新人合同研修会の振り返りおよび反省
11/18	第50回 育成チーム会議	・指導職研修の人財部へのフィードバック確認 ・オリエン推進会議の進捗共有 ・次期の指導職研修の内容検討
12/11	採用オリエンテーション	採用オリエンテーション …足立ブロック：7名 多摩ブロック：3名 開催場所：さくら、みずき
12/16	第51回 育成チーム会議	・オリエンテーション振り返り ・オリエン推進会議の進捗共有 ・新人合同研修会（翌4月）の内容検討 ・次期の指導職研修の内容検討
1/20	第52回 育成チーム会議	・オリエン推進会議の進捗共有 ・採用オリエンテーションについて ・新人合同研修会（翌4月）の内容検討 ・次期の指導職研修の内容検討
2/12	採用オリエンテーション	採用オリエンテーション …足立ブロック：7名 多摩ブロック：7名 開催場所：さくら、みずき
2/17	第53回 育成チーム会議	・求める人財像の研修受講管理について ・オリエン推進会議の進捗共有 ・新人合同研修会（翌4月）の内容検討 ・次期の指導職研修の内容検討
3/17	第54回 育成チーム会議	・求める人財像の研修受講管理について ・オリエン推進会議の進捗共有 ・採用オリエンテーションについて ・新人合同研修会（翌4月）の内容確認 ・次期の指導職研修の内容検討

<<財務部>>

1. 重点目標に対する評価

(1) 法人全体で決算の黒字化を達成します。

事業計画で掲げた内容	実施状況
①事業（サービス区分）ごとの目標利用率の設定と進捗管理。目標利用率（事業によっては件数等）について、黒字化をベースとした根拠のある数値設定をするともに、赤字体質の事業について精査します。 ②「指標」の設定・共有と、それに基づく予算執行管理。財務三表（資金収支計算書、事業活動計算書、貸借対照表）それぞれの特徴を理解したうえで、サービス活動増減差額（事業活動計算書）の黒字化を軸とした予算の執行管理を行います。 ③令和6年度報酬改定への対応。介護保険・障害福祉サービスの報酬改定内容、一本化される処遇改善への対応、運営基準の遵守、漏れ・間違いのないよう対応していきます。	①財務部会議にてたたき台を提案・検討後、えんセクション会議にて財務指標の法人共通の設定を試行しました。足立ブロックで使用している収入予算比グラフや多摩ブロックで使用しているA3表の共有から始め、経営分析ソフトを活用しながらすすめました。進捗を両ブロック会議等で共有し、課題を財務部会議に持ち帰りました。表・グラフの見やすさや共有の方法など、さらなる精査が必要です。 ③報酬改定への対応は、各拠点・事業所のところで行われました。対応状況、経営への影響の共有、制度体系の共有・加算の理解等、各拠点・事業所の取り組み状況を、財務部会議内で確認しました。
通期評価	今後に向けて
2年連続で法人全体での黒字化という目標については達成しました。ブロック・拠点での予算管理は精度が高くなっています。ただし共通の財務指標にもとづく予算管理等は、まだばらつきがあり十分とは言えません。よりわかりやすく有効な財務指標にもとづく分析をさらにすすめる必要があります。	法人経営黒字化(の継続)に向け、共通の財務指標の運用のもと、有効な財務分析に取り組みます。処遇改善加算の令和7年度分の増配分も令和6年度の報酬改定に組み込まれており、より厳密な財務管理が求められると考えます。

(2) 安定かつ希望の持てる未来に向け、体制の構築を図ります。

事業計画で掲げた内容	実施状況
①中長期資金計画表の精度アップ・完成【(仮)カネセクション、(仮)モノセクション】。新規事業や大規模修繕等に明確な見通しを示せるようにしていくため、法人の資金・資産状況を正確に把握していきます。 ②予算の編成【(仮)カネセクション】。執行管理の精度を上げていくため、令和7年度予算編成について、法人全体で共通認識のもと、拠点・サービス区分ごとの予算編成が	①4月にえんセクションが、6月にものセクションが発足しました。えんセクションで中長期資金計画、ものセクションで中長期設備投資計画の取りまとめに取り組みました。左記掲げた内容については着実にすすんでいます。まだ十分なまとめと活用には至っていません。 ②予算編成を、法人全体での共通認識のもと財務部主導ですすめる取り組みには至りませんでした。理事会・評議員会ごとに財務報告要旨を作成し報告しました。予算執行管理は着実にすすみま

できるよう取り組みます。 ③財務ガバナンスのチェック強化【(仮) カネセクション】。対面往査の実施含め、内部監査的な機会をつくります。 ④物品調達・物品再配置の仕組みづくり【(仮) モノセクション】。各拠点における物品調達の見える化と共有を図ります。 ⑤管理職への勉強会の企画 事業・部署を統括する管理職が予算を把握し執行管理し、利用者支援の充実との両立を図れるよう、知識や現状、指標等の共有を図ります。	した。 ③コロナ禍以来中断していた対面往査が8月から再開し、(株) 福祉会計サービスセンターによる証憑書類の確認等実施しました。その指摘も踏まえ起案書や物品等購入依頼書の書式・運用を見直し、法人統一書式を作成しました。 ④ものセクションが発足し、保険の見直し(法人一括契約への移行)はじめ、種々契約内容の情報共有や見直しが行われています。透明化と効率的な執行につながっています。 ⑤2回の座談会を実施しました。9月のVISION2028 マネージャー会議では、全管理職と財務部メンバーが参加し、お金について率直に話し合いました。2月には事業所の課題について、事業所管理職とえんセクションメンバーでの課題の共有と提案を行いました。
通期評価	今後に向けて
えん・もの両セクションが発足しました。えんセクションは従来の財務チームをベースにしていますが、ものセクションはゼロからの構築です。体制の構築と意図を持った活動が、少しずつではありますが、着実にすすんでいると評価しています。法人全体で事務職員間の情報共有や協働がすすみました。また管理職が財務について理解と関心を深める取り組みも実施しました。	活動を着実に進ずするには準備が必要ですが、その余力を生み出すのが課題と言えます。えんセクションリーダー（前多摩ブロック事務長）の退職もあり、部およびセクションをけん引していくリーダーと、提案や課題抽出が主体的にできるメンバーの育成が今後求められます。

2. 活動報告

(1) 実施状況

日付	活動(会議)名	内容
4/4	財務部会議	補助・助成金、昨年度入札、中和泉GH計画、インボイス制度、電子帳簿保存法、えんセクション・ものセクション、事業計画進捗管理
5/2	財務部会議	経営指標について、補助・助成金、昨年度入札、中和泉GH計画、電子帳簿保存法、えんセクション・ものセクション、報酬改定対応、管理職勉強会
6/6	財務部会議	補助・助成金、昨年度入札、狛江エリア新規事業、電子帳簿保存法、えんセクション・ものセクション、管理職勉強会
7/4	財務部会議	補助・助成金、昨年度入札、狛江エリア新規事業、処遇改善加算、えんセクション・ものセクション、予算の

		編成、管理職勉強会
8/1	財務部会議	補助・助成金、狛江エリア新規事業、電子帳簿保存法、処遇改善加算、えんセクション・ものセクション、予算の編成、管理職勉強会
9/5	財務部会議	補助・助成金、狛江エリア新規事業、電子帳簿保存法、処遇改善加算、えんセクション・ものセクション、予算の編成、管理職勉強会(振り返り)
10/3	財務部会議	補助・助成金、狛江エリア新規事業、二次補正予算・財務報告要旨
11/7	財務部会議	補助・助成金、狛江エリア新規事業、予算編成、管理職への勉強会
12/5	財務部会議	補助・助成金、狛江エリア新規事業、予算・補正予算編成、往査日程、処遇改善、管理職への勉強会
1/7	財務部会議	補助・助成金、狛江エリア新規事業、予算・補正予算編成、管理職への勉強会、起案書・物品等購入依頼書、経理規程に基づく役割、共通財務指標、事業計画作成
2/5, 6	財務部会議	補助・助成金、狛江エリア新規事業、予算・補正予算編成、管理職への勉強会、起案書・物品等購入依頼書、共通財務指標、事業計画作成
3/6	財務部会議	補助・助成金、予算・補正予算編成、利用料請求、往査日程、処遇改善、起案書・物品等購入依頼書、共通財務指標、管理職への勉強会の企画、取引銀行、
4/2	えんセクションプレ会議	中長期計画共有、今年度事業計画/体制、中長期資金計画、会計往査準備
4/23	えんセクション会議	決算往査準備、中長期資金計画
5/28	えんセクション会議	前年度振り返り、一次補正予算、中長期資金計画、財務指標、WAM現況報告書
6/25	えんセクション会議	往査準備、中長期資金計画、財務指標、WAM現況報告書
7/23	えんセクション会議	往査準備、中長期資金計画、財務指標
8/27	えんセクション会議	往査準備、中長期資金計画、財務指標
9/24	えんセクション会議	往査準備、中長期資金計画、財務指標
10/29	えんセクション会議	往査準備、中長期資金計画、財務指標、財務ガバナンス強化、既存事業管理のための体制構築
11/25	えんセクション会議	往査準備、中長期資金計画、財務指標、財務ガバナンス強化、既存事業管理のための体制構築
12/24	えんセクション会議	往査準備、中長期資金計画、財務指標、財務ガバナンス強化、既存事業管理のための体制構築
1/28	えんセクション会議	往査準備、中長期資金計画、財務指標、財務ガバナンス強化、既存事業管理のための体制構築

2/25	えんセクション会議	往査準備、中長期資金計画、財務指標、財務ガバナンス強化、既存事業管理のための体制構築、事業計画
3/25	えんセクション会議	往査準備、中長期資金計画、財務指標、財務ガバナンス強化、既存事業管理のための体制構築
6/18	ものセクション会議	ものセクションがやること、年間スケジュール
7/16	ものセクション会議	中長期設備投資計画、「もの」についての状況課題共有
8/20	ものセクション会議	中長期設備投資計画、「もの」についての状況課題共有、保険の見直し、ワイズマン契約、携帯電話契約
9/17	ものセクション会議	中長期設備投資計画、「もの」についての状況課題共有、固定資産棚卸し
10/15	ものセクション会議	中長期設備投資計画、「もの」についての状況課題共有、固定資産棚卸し、中小企業組合制度の利用検討
11/19	ものセクション会議	中長期設備投資計画、「もの」についての状況課題共有、固定資産棚卸し、中小企業組合制度の利用検討
12/17	ものセクション会議	中長期設備投資計画、「もの」についての状況課題共有、固定資産棚卸し
1/21	ものセクション会議	中長期設備投資計画、「もの」についての状況課題共有
2/18	ものセクション会議	中長期設備投資計画、「もの」についての状況課題共有、事業計画
3/18	ものセクション会議	中長期設備投資計画、「もの」についての状況課題共有
4/9	令和5年度分 会計往査	2月分。遠隔で実施
5/13,14	令和5年度分 決算往査	遠隔で実施
7/2	会計往査	4, 5月分。遠隔にて実施
8/6	会計往査	6月分。さくらにて対面で実施
9/3	会計往査	7月分。みずきにて対面で実施
10/	会計往査	8月分月次処理。えだまめ施設整備
11/	会計往査	9月分。えだまめ施設整備等
12/	会計往査	10月分。受託事業契約書閲覧、えだまめ施設整備等
1/	会計往査	11月分。えだまめ施設整備等
2/	会計往査	12月分。未解決事項の整理対応、介護サービス事業者経営情報の報告等
3/	会計往査	1月分、えだまめ施設整備等
9/4	第1回 財務部座談会	VISION2028 マネージャー会議内で実施 「お金についてのコミュニケーションの架け橋をつくる～わがこととしてお金のことを捉える～」
2/25	第2回 財務部座談会	えんセクションメンバーと管理職4名で実施 「みずき通所支援課（Ⅱ課）の送迎委託の車両1台増車したい件」

（2）特記事項 特になし

《情報マーケティング部》

1. 重点目標に対する評価

- (1) それぞれの施設事業所において、「つながり支援」が、食事支援や入浴支援と同じく、利用者支援のひとつになっている。

事業計画で掲げた内容	実施状況
①支援におけるさまざまな機会をとらえて、私たち自身が「つながり支援」という新たな支援の視点で、例えば以下の観点から、いまの支援を捉え直し、支援の見方をひろげていきます。 ・つながり支援は、外へ出向かなくてもできる。 ・つながり支援は、いましている支援のなかでもできる。 ・つながり支援は、ちょっとしたことでできる。 ・つながり支援は、いまある仕組みをちょっとひろげるだけでもできる。 ・つながり支援は、ご利用者ひとりひとりをよく知る職員が、支援の専門性を発揮して、ひとりひとりに合ったつながり方をサポートしていく必要がある（支援の腕のみせどころ）。	①「ご利用者が地域とつながる」ことへの支援（つながり支援）の展開・深化を、最重要課題と位置づけ、それぞれの事業所でできることから取り組みを始めました。谷在家さくらマルシェのキッズベビーコーナーへのご入居者の参加（さくら・かえで）、敷地駐車場を中心にした清掃活動（クリーン作戦）の継続実施（リブインさくら）、調布市社会福祉事業団すまいる様のパン類やひばり福祉会作業所様のこんにゃく類など新たな納品契約での食材をとおしたご利用者と地域のつながり（みずき）、市民団体「わたしたちはここにいるよプロジェクト」でのご利用者の作品展示（狛江）など。※詳細はランドマークチームの項をご参照ください。
通期評価	今後に向けて
ご利用者が地域とつながるための「つながり支援」を意識した取り組みが、各所それぞれの地域事情にあわせて始まりました。情報マーケティング部やランドマークチームでの動きを、ブロック・エリアや事業所の運営にどうつなげていけるかがポイントです。会議などをとおしてマネージャー（管理職）同士で方向性の共有とすりあわせを行いながら、できることから取り組みを行っています。	それぞれの事業所の現状をふまえたうえで、これまでの取り組みの継続や展開・深化や、新たな取り組みへのチャレンジなどを行います。

- (2) 職員自身が地域とつながることが、「つながり支援」の大きな力になる。そのことに自分たち（職員）が気づいていく。

事業計画で掲げた内容	実施状況
①「職員が、ご利用者とともに地域とつながる機会」を、普段の仕事のなかにつくれるかがポイントです。例えば、以下の観点から、	①「職員が地域とつながる」ことも最重要課題と位置づけ、取り組みを行いました。足立ブロックでは、奇数月の最終日曜日に行われる谷在家さくら

業務全般をふりかえり、見直し、整えます。 ・つながり支援は「ながら支援」。あまり大げさに考えず、できることから始めよう。 ・「つながり支援」が普段の仕事に組みこめれば、職員が仕事のなかで、ご利用者が地域とつながってうれしい姿に触れられる。結果、「つながり支援はご利用者支援のひとつ」と自然に思えるようになる。 ・仮に、その場にご利用者が一緒におらず、「職員だけが地域とつながる機会」になったとしても、それはそれでOK。その後のつながり支援の力になる。 ・つながりの発展…単発企画→継続企画→顔見知りの関係へ。	マルシェに介護職員をはじめ多職種・多事業所の職員が参加しています。また足立区鹿浜地域学習センター様主催のおしごとらんどに複数の職員が参加し、地域の子どもたちを対象に視覚障害体験や血圧測定体験や車いす操作体験など行いました。新たな取り組みとしては、地域包括支援センター鹿浜が主催する介護者教室に介護職員が講師として参加し、地域の方に移乗支援についてお伝えしました。みずきでは、地域の福祉事業所との連携や広報媒体配布に職員が携わり、狛江エリアでは、こまばくやここプロ、こまほっとでの作品展示会に職員がかかわるなど、地域とつながる機会を継続して持っています。
通期評価	今後に向けて
「つながり支援」定着のポイントのひとつが、「職員が地域とつながる」ことであり、ご利用者が地域とつながる場面に職員が立ち会え、「つながり支援」の楽しさと重要性を体験することです。ご利用者への日々の支援業務があるなかで、どうそれを実現させていくか。ひきつづきの課題です。	谷在家保育園様との交流促進（それにより職員がご利用者と一緒にかかわる機会を増やす）（さくら・かえで）、コロナ禍で中断していたご利用者の外出支援の再開（みずき）など、事業所それぞれにあった取り組みを、運営に携わるマネージャー（管理職）同士で連携協議し模索し、実施します。

（３）それぞれの施設事業所において、地域における社会参加ニーズと直接つながる仕組みができて
いる。

事業計画で掲げた内容	実施状況
①地域における社会参加ニーズと直接つながる仕組みをつくり、育てます。※以下は案 ・機会と仕組みを適切に活かせば社会参加できるひとたちとつながる施策…ママカフェ、保健所、短時間労働、資格取得支援、介護の機械化・ICT化、ボランティア受け入れの体制整備（バリエーションを増やす、コーディネート機能を整える）、など。 ・地域のひとたちや制度によるサポートや支援のもとで社会生活を営めるひとたちとつながる施策…足立邦栄会の行う福祉	①地域包括支援センターなどでの主業務をとおした取り組み（はじめてのフレイル予防教室、みんなで元気アップ教室、など）、介護補助や行事演芸のボランティアの受け入れ、中学生や他の障害福祉事業所ご利用者の職場体験の受け入れ、特別支援学校の進路見学会の実施、外国人技能実習生の受け入れ、府中市作業所連絡会様を通した清掃業務委託契約の再開など、各所で取り組みを行いました。

事業や地域の「つながりの輪」を介して。 - 地域の防災拠点になる…行政や公的機関など地域の「つながりの輪」と協働して災害時に日常生活を保てなくなるひとたちをサポートできる体制を平時のうちに整える。 ②地域における「つながりの輪」づくりをすすめます。※以下は例 - つながるひとたち…地域のひとたち、ボランティア、地域団体、企業、行政（地域福祉計画との連動）、公的機関（社会福祉協議会、図書館、学校、消防署）など。 - つながり方…福祉サービスで、また福祉サービス以外の方法で ヒト・モノ・カネを介して 施設事業所のなかまたは外で（アウトリーチ）。 - つながりの発展…単発企画→継続企画→顔見知りの関係へ/そのなかで地域のニーズを捉え確かめる力をつける。 ③法人内外への情報発信力を高めます～情報発信の楽しさと情報管理の的確さの両立。 - 足立邦栄会全体における情報発信の司令塔（ディレクター）の確立 - SNSや動画配信などのネット媒体における情報発信体制の構築 - 機関紙・広報誌などの紙媒体における使い方のレベルアップ…直接的関係構築力という強みを活かす、法人全体の広報誌「Heart to Heart」の定期発行。 - 法人内部での情報発信および情報共有体制の構築。	②また①と連動するかたちで、地域における「つながりの輪」づくりにも取り組みました。近隣の谷在家保育園様との交流再開（足立ブロック）、武蔵野の森相互応援協定所属施設栄養士会議をきっかけにした近隣施設との交流（みずき）、狛江市社会福祉協議会主催の三つの会議体への参加（狛江エリア）、機関広報誌をはじめ各種の広報媒体の近隣施設や事業所・行政への配布（各ブロック・エリア）などを行いました。 ③VISION2028の各部・各チームおよびそれぞれの事業所にて、ホームページや機関広報誌、SNSなどで、定期的な情報発信を行っています。またSNSによる情報発信を重要課題と位置づけ、情報戦略チームにおいて、各拠点でのSNSでの情報発信体制づくりに取り組んでいます。また令和7年1月21日、法人全体の広報誌「Heart to Heart」のリニューアル新号を発行しました。
通期評価	今後に向けて
①②について、各事業所において VISION2023 での取り組みを継続・発展させており、今後も、各拠点の VISION2028 詳細計画をもとに、取り組みをすすめます。 ③も同じく、各事業所において VISION2023 での取り組みを継続・発展させています。今後は、SNSでの情報発信など、さらなる進展が課題です。	①②については各拠点の VISION2028 詳細計画をもとに、現在の取り組みを継続・発展させていきます。 ③については、現在の取り組みを継続させるとともに、情報戦略チームを中心にSNSでの情報発信のルールづくりに取り組みます。

2. 活動報告

(1) 実施状況

日付	活動(会議)名	内容
4/17	第1回 情報マーケティング部 会議	令和5年度事業報告打ち合わせ、VISION2028 月次報告の事前入力について、重点目標1～3の各拠点・各チームの進捗共有
5/7	第2回 情報マーケティング部 会議	ランドマークチームメンバー変更、VISION2028 推進会議内容共有、重点目標1～3の各拠点・各チームの進捗共有
6/10	第3回 情報マーケティング部 会議	VISION2028 推進会議内容共有、重点目標1～3の各拠点・各チームの進捗共有
7/8	第4回 情報マーケティング部 会議	VISION2028 推進会議内容共有、9/4 マネージャー会議の打ち合わせ、チーム運営の要点確認、重点目標1～3の各拠点・各チームの進捗共有
8/12	第5回 情報マーケティング部 会議	VISION2028 推進会議内容共有、重点目標1～3の各拠点・各チームの進捗共有
9/9	第6回 情報マーケティング部 会議	VISION2028 推進会議内容共有、上半期事業報告の打ち合わせ、重点目標1～3の各拠点・各チームの進捗共有
10/16	第7回 情報マーケティング部 会議	VISION2028 推進会議内容共有、上半期事業報告の確認共有、ネット関連保守について、重点目標1～3の各拠点・各チームの進捗共有
11/11	第8回 情報マーケティング部 会議	VISION2028 推進会議内容共有、重点目標1～3の各拠点・各チームの進捗共有、第42回関東・甲信越地区身体障害者施設職員研修大会参加者とりまとめ
12/9	第9回 情報マーケティング部 会議	VISION2028 推進会議内容共有、ネット関連保守について、重点目標1～3の各拠点・各チームの進捗共有、第42回関東・甲信越地区身体障害者施設職員研修大会の参加者とりまとめ
1/13	第10回 情報マーケティング 部会議	VISION2028 推進会議内容共有（事業数の整理など）、重点目標1～3の各拠点・各チームの進捗共有、新しい議事書式の共有、令和7年度事業計画の打ち合わせ、2/5 マネージャー会議の打ち合わせ
2/10	第11回 情報マーケティング 部会議	VISION2028 推進会議内容共有、令和7年度事業計画の進捗共有、ネット関連保守について、重点目標1～3の各拠点・各チームの進捗共有
3/10	第12回 情報マーケティング 部会議	VISION2028 推進会議内容共有、重点目標1～3の各拠点・各チームの進捗共有

(2) 特記事項 特になし

【ランドマーク／情報マーケティング部】

1. 重点目標に対する評価

- (1) ご利用者・職員が地域とつながることを第一に地域活動に取り組みます。「つながり支援」の観点でランドマークチームのみならず、法人全体での地域活動の推進、「つながりの輪」づくりの発展を各地域（3拠点）で展開します。これらランドマークチームの実践は内外に広くアピールし、つながりの発展の可能性を探ります。また、ランドマークチームが生み出している価値を、全国基準で客観的に捉えていきます。

事業計画で掲げた内容	実施状況
①ご利用者が地域とつながることに取り組みます。これまで培ったつながりやその機会、またこれから新しくつながる環境を「つながり支援」につなげます。 ②ご利用者・職員が地域とつながること、つながるひとたちがつながれる場面を創出します。現在ある地域活動をベースに、それぞれの拠点（足立・府中・狛江）では、拠点の計画にもとづいた地域活動を行い、定例会議において、進捗を共有して検証と評価を行います。 （足立）さくら・リブインさくらを拠点として地域交流・多世代交流など。 （府中）「café at」を中心とした地域交流・体験や実習環境の提供など。 （狛江）社会福祉協議会や包括支援センター・市民活動団との協働、地域活動づくりなど。 ③法人全体、拠点同士の相互作用が発揮されるよう、拠点での活動に際し他拠点の活動や人員も活用します。相互交流のある活動を取り入れていきます。 ⑥情報戦略チームと連動し、法人ホームページにおいて、ランドマークチームの地域活動のお知らせと報告を拠点ごとに行います。	①②③⑥ ランドマークチームは共通目的である「つながり支援」に向けて、『チームこまえ（狛江）』『チームさくら（足立）』『チームみずき（府中）』の3拠点で活動を実施しています。その実施内容を活動記録表に記入し、ランドマークチームの今後に向けた活動指針としています。 また、それぞれの各拠点の活動を定期的（月1回以上、持ち回りで実施）に法人ホームページで記事として報告を行いました。 『チームさくら（足立：さくらかえで・リブインさくらで活動が異なります。）』 さくらかえででは、隔月の最終日曜日に「谷在家さくらマルシェ」を開催しています。開催ごとに新規の試みを行っています。それにより、地域住民とご利用者の交流の場が提供できています。実施イベント：太鼓の演奏（太鼓打ち体験の参加型演奏体験を実施しました）、ダーツ（日本ダーツ協会様よりダーツをお借りしてダーツ大会を実施しました）、顔彩ワークショップ（狛江で開催している顔彩ワークショップ）を実施しました。ランドマークチーム内の拠点間情報共有による活動をとおしたつながりとなりました。足立の地域会議においては「ご利用者・職員が地域とつながる」「施設・事業所が地域とつながる」を題材として、地域包括支援センターで創出した自主グループへのご利用者の参加を検討し実施しました。また、近隣の谷在家保育園様との交流を計画し実施しました。（朝の体操へご入居者が参加、保育園児の来所）。 リブインさくらでは、わらび餅の移動販売と施設

④主に職員に向けた「定例報告会」を実施します。 ⑤外部団体の主催する「実践報告会」に参加し、ランドマークチームの実践報告を行います。	周辺のクリーン作戦（ご利用者参加）を実施し、地域包括支援センターが行う絆のあんしんネットワーク連絡会では施設スペースの無償貸出のご案内を行いました。また、地域交流の一環として足立区古千谷町会の会長様にインタビューを行い、それをリブインさくらの機関広報誌「りんどう」に掲載して町会配布をしていただきました。 『チームみずき（府中）』 近隣施設栄養士会を実施し、近隣施設との交流、協力体制強化につながりました。近隣施設との関係性を深めることにより、近隣施設のイベントのお誘い、出店依頼など交流が深まりました。近隣施設とのつながりが深くなることで、情報交換の機会が増え、食材ルートの開拓ができました。 みずき café at の委託販売者との情報交換により、近隣施設との交流が生まれ、イベントのお誘い（ご利用者参加）や食材ルートの開拓につながりました。みずき café at での他施設ご利用者余暇支援利用や特別支援学校生徒さんの利用、また作品の展示など、café at 利用の営業を行い、みずきの認知度が広まりました。こうした活動の継続により施設間の交流が深まり、関係強化につながりました。 『チームこまえ（狛江）』 ご利用者が参加できる企画やイベントを実施しました。市民団体「わたしたちはここにいるよプロジェクト」では、ご利用者の作品展示や紹介を行いました。それにより見学に来るご利用者もあり、現地で交流するつながりを見ることができました。また、今年度はこれまで地域活動を積極的に行ってきたポンテの活動内容にも焦点をあてることで、チームこまえ全体のランドマークとしての活動を共有、発信することができました。 ④9月にランドマークチーム第5回定例報告会を行いました。各拠点をオンラインで結び、多くの職員へランドマークチームの活動を伝えることができました。 ⑤12月に「第42回関東・甲信越地区身体障害者施設職員研修大会」に参加し、「利用者が地域とつながる街づくり」をテーマにランドマークチー
--	---

	ムで足立邦栄会の地域活動について実践報告を行いました。 1月のランドマークチーム会議でふりかえりを行い、ランドマークチームとして各拠点での取り組みについて、次年度以降についても外部発表を行っていき、法人としての認知度および実績を積みあげていくことを確認しました。
通期評価	今後に向けて
ランドマークチーム全体として、各拠点の活動内容の情報交換が以前より密になり、情報を共有することで、それぞれの拠点活動で活かすことができるようになりました。外部団体の主催する実践報告会への参加で、足立邦栄会として初めて「第42回関東・甲信越地区身体障害者施設職員研修大会」に参加し、VISION2023からVISION2028にかけての取り組み、ランドマークチームや拠点ごとの実績を外部に向けて発信することで、他法人からも、法人内事業所の横断的チーム活動という取り組みのユニークさ、それぞれの拠点がしっかりと地域とつながってきた実績に対する好評をいただき、これまで積みあげて進んできた足取りの確かさを改めて感じることができました。 『チームさくら（足立）』 隔月の最終日曜日開催の谷在家さくらマルシェにおいては、開催ごとに違う企画（ご利用者参加）を実施しました。地域会議においては月1回の会議時に活動方針を決め、地域とご利用者がつながることに取り組みました。 『チームみずき（府中）』 近隣栄養士会の実施により、近隣施設とのつながり強化が図れました。他施設の方々、近隣住民の方々にみずき café at のご利用を定期的にご予約していただくようになりました。「みずき」の認知度が高まっています。 『チームこまえ（狛江）』 こまばくなどのイベントを開催し、よかった点、悪かった点などが明確になりました。天候や時間による来場者に波があること、スペースの都合でイベントに参加できるご利用者が極めて限られること、といった課題点に気づくことができました。	情報交換の要として各拠点からあがっている「活動記録表」が蓄積されてきているので、地域資源マニュアル化と使える名刺リスト化を今後も継続していきます。中長期計画として令和8年度には形になれば良いと考えます。外部での実践報告会については、経営層からの情報共有を依頼しています。3月時点で複数の令和7年度実践報告会の開催情報を確認していますので、参加に向けて計画をすすめていきたいと考えます。 『チームさくら（足立）』 今後「谷在家さくらマルシェ」の在り方を検討するための話し合いを実施し、推進方法や改善点を確認し考えていきます。 『チームみずき（府中）』 みずきご利用者と地域のつながりができるように、他施設との関係強化をすすめます。その他にも、定期的の実施していただける企画の確認を行います。 『チームこまえ（狛江）』 地域交流の場面を多くつくるための集客方法が課題としてあげられます。ポンテやこまえ工房の活動に連携させる工夫が今後必要で、いかにご利用者が参加できるようにするかがポイントです。イベン

また、こまほっとシルバー相談室では地域住民の皆様との話し合いが定例化し、こまほっとを利用した企画が検討され毎月の実施につながっています。	トスタッフによる開催当日のチラシ配りは効果を上げていますが、イベントの周知をどのようにするのも課題です。地域の方たちでの主体的なイベント運営が定着してきています。今後も継続していけるよう連携協力していきます。
--	--

2. 活動報告

(1) 実施状況

日付	活動(会議)名	内容
4月	第1回ランドマークチーム会議 ・法人ホームページ記事掲載(チームさくら) ・わらび餅移動販売(チームさくら)★毎月実施 ・セブンイレブン移動販売(チームさくら)★毎月実施 ・施設周辺クリーン作戦(チームさくら)★毎月実施 ・こまぱく(チームこまえ)★毎月参加	・令和6年度メンバー確認、令和6年度ランドマークチーム方針確認、各拠点の地域活動報告、法人ホームページ記事確認、外部実践報告確認 ・谷在家さくらマルシェ記事を掲載 ・わらび餅移動販売実施(地域交流) ・セブンイレブン移動販売実施(地域交流) ・施設周辺クリーン作戦実施(ご利用者参加型) ・地域包括支援センターと共同の食をとおした居場所づくり参加(地域交流)
5月	第2回ランドマークチーム会議 ・法人ホームページ記事掲載(チームみずき) ・谷在家さくらマルシェ(チームさくら) ・近隣施設栄養士会『あさひ苑』(チームみずき) ・近隣施設すまいるパン納品契約(チームみずき)	・令和6年度メンバー変更確認、各拠点の地域活動報告、法人ホームページ記事確認、外部実践報告確認、活動記録表確認 ・近隣量店による畳張替の紹介記事を掲載 ・谷在家さくらマルシェ+参加型太鼓演奏(ご利用者参加、地域交流) ・近隣施設協力体制強化(地域資源、地域交流) ・近隣施設協力体制強化(地域資源、地域交流)
6月	第3回ランドマークチーム会議 ・法人ホームページ記事掲載(チームこまえ) ・子ども食堂(チームさくら) ・近隣施設スクラム食材納品契約(チームみずき)	・各拠点の地域活動報告、法人ホームページ記事確認、外部実践報告確認、活動記録表確認、第5回定例報告会確認 ・多摩川住宅エリアの活動記事を掲載 ・わらび餅移動販売実施(地域交流) ・子ども食堂実施(地域交流) ・近隣施設協力体制強化(地域資源、地域交流)
7月	第4回ランドマークチーム会議 ・法人ホームページ記事掲載	・各拠点の地域活動報告、法人ホームページ記事確認、外部実践報告確認、活動記録表確認、第5回定例

	(チームさくら) ・谷在家さくらマルシェ (チームさくら) ・子ども食堂(チームさくら) ・フードパントリー (チームさくら) ・こどもおしごとらんど (チームさくら) ・障がい児職場体験 (チームみずき)	報告会確認 ・谷在家さくらマルシェ記事を掲載 ・谷在家さくらマルシェ+ダーツ大会(ご利用者参加 地域交流) ・子ども食堂実施(地域交流) ・フードパントリー実施(地域交流) ・足立区鹿浜地域学習センター様主催の小学生を対象 とした介護の仕事体験の場を提供(地域資源、地域 交流) ・障がい児職場体験実施(地域交流)
8月	第5回ランドマークチーム会議 ・法人ホームページ記事掲載 (チームみずき) ・フードパントリー (チームさくら) ・近隣施設『あさひ苑』納涼祭 出店(チームみずき) ・近隣施設栄養士会『調布福祉 園』(チームみずき) ・障がい児職場体験 (チームみずき)	・各拠点の地域活動報告、法人ホームページ記事確認、 外部実践報告確認、活動記録表確認、第5回定例報 告会確認 ・近隣施設すまいるパン納品開始の紹介記事を掲載 ・フードパントリー実施(地域交流) ・近隣施設協力体制強化(地域資源、地域交流) ・近隣施設協力体制強化(地域資源、地域交流) ・café at 障がい児職場体験実施(地域交流)
9月	第6回ランドマークチーム会議 (書面報告のみ) ・ランドマークチーム第5回定 例報告会 ・法人ホームページ記事掲載 (チームこまえ、チームさくら) ・谷在家さくらマルシェ(チー ムさくら) ・フードパントリー(チームさ くら) ・敬老会(チームさくら)	・各拠点の地域活動報告、法人ホームページ記事確認 外部実践報告確認、活動記録表確認 ・第5回ランドマークチーム定例報告会実施(令和6 年度関東・甲信越地区身体障害者施設職員研修大会 発表予定内容) ・「ここプロ」紹介記事、「9月谷在家さくらマルシェ」 紹介記事を掲載 ・谷在家さくらマルシェ+顔彩ワークショップ (ご利用者参加) ・フードパントリー実施(地域資源、地域交流) ・デイサービス敬老会時に近隣の谷在家保育園様と 交流を企画するがコロナのため中止。今後のつなが り方について谷在家保育園様に聞き取りを行う。
10月	第7回ランドマークチーム会議 ・法人ホームページ記事掲載 (チームこまえ) ・フードパントリー (チームさくら) ・東京都主催 e パラスポーツ	・各拠点の地域活動報告、法人ホームページ記事確認 外部実践報告確認、活動記録表確認 ・「ここプロアート展」紹介記事を掲載 ・フードパントリー実施(地域資源、地域交流) ・東京都主催 e パラスポーツ参加にみずきご入居者が 参加(社会とご利用者がつながるきっかけづくり)

	参加（チームみずき） ・近隣特別支援学校中学部生徒 café at で職場見学会（チームみずき） ・近隣施設イベント参加（チームみずき） ・みちはここから展_vol.2に参加（チームこまえ） ・さつき会メイさんカフェ開催（チームこまえ）★毎月開催	・けやきの森学園中学部 café at で職場見学会を実施（地域交流） ・調布市社会福祉事業団すずかけフェスタ（なごみ、そよかぜ、すまいるの3事業のお祭り）へのご招待をいただき、みずきご利用者と職員が参加（ご利用者参加、地域交流） ・みちはここから展_vol.2に参加（地域交流） ・さつき会のメイさんのカフェをこまほっとを会場に開催（地域交流）
11月	第8回ランドマークチーム会議 ・法人ホームページ記事掲載（チームさくら） ・谷在家さくらマルシェ（チームさくら） ・子ども食堂（チームさくら） ・フードパントリー（チームさくら） ・近隣保育園（朝の体操） ・みずきまつり（チームみずき） ・近隣施設栄養士会『調布市社会福祉事業団なごみ』（チームみずき） ・外国語大学学園祭（チームみずき） ・ここプロ調布げんきアートコラボアート展（チームこまえ） ・ポンテ作品展「ぎょぎょ展」	・各拠点の地域活動報告、法人ホームページ記事確認 外部実践報告確認、活動記録表確認 ・リブインさくら、「セブンイレブン」「すぽーん」移動販売紹介記事を掲載 ・谷在家さくらマルシェ+ボッチャ大会（ご利用者参加、地域交流） ・子ども食堂実施（地域資源、地域交流） ・フードパントリー実施（地域資源、地域交流） ・谷在家保育園の朝の体操にご利用者と参加（ご利用者参加、地域交流） ・みずきまつりに、けやきの森学園和太鼓部が参加（ご利用者参加、地域交流） ・近隣施設協力体制強化（地域資源、地域交流） ・外国語大学に職員ご利用者と参加（ご利用者参加、地域交流） ・ここプロ調布げんきアートコラボアート展に参加（地域交流） ・ポンテご利用者の作品展「ぎょぎょ展」を開催（ご利用者参加、地域交流）
12月	第9回ランドマークチーム会議 ・「第42回関東・甲信越地区身体障害者施設職員研修大会」に参加 ・法人ホームページ記事掲載（チームみずき） ・子ども食堂（チームさくら） ・フードパントリー（チームさくら） ・café at 展示販売スペース改装（チームみずき）	・各拠点の地域活動報告、法人ホームページ記事確認 外部実践報告確認、活動記録表確認 ・「第42回関東・甲信越地区身体障害者施設職員研修大会」第4分科会「相談支援、地域移行支援、地域貢献」に参加し、「利用者が地域とつながる街づくり」をテーマにランドマークチームで発表 ・職場体験（café at）紹介記事を掲載 ・子ども食堂実施（地域資源、地域交流） ・フードパントリー実施（地域資源、地域交流） ・café at 展示販売スペースに、近隣商店で購入した畳エリアを作り、さまざまなお客様がご利用しやすい

	・近隣特別支援学校中学部作品展示（チームみずき） ・フードドライブ実施（チームこまえ） ・障がい者週間（チームこまえ）	- いよう、改装を行う（地域資源、地域交流） ・けやきの森学園中学部作品（カレンダー、手作りはがき）をcafé at でいただき、喫茶、展示スペースで掲載（地域資源、地域交流） ・フードドライブ実施（地域資源、地域交流） ・市役所ロビーでポンテご利用者の活動紹介や、自主製品の販売を実施（ご利用者参加、地域資源、地域交流）
1 月	第10回ランドマークチーム 会議 ・法人ホームページ記事掲載（チームこまえ） ・谷在家さくらマルシェ（チームさくら） ・フードパントリー（チームさくら） ・近隣施設挨拶（チームみずき） ・こまぱくフェスティバル参加（チームこまえ） ・消防セミナー開催（チームこまえ） ・食品販売（チームこまえ）★常設販売 ・ポンテ自主製品販売（チームこまえ）★常設販売	・各拠点の地域活動報告、法人ホームページ記事確認、外部実践報告確認、外部実践報告ふりかえり、活動記録表確認 ・「こまぱくフェスティバル」紹介記事を掲載 ・谷在家さくらマルシェ＋防災訓練（消火器訓練、地震体験車）、レッツダンス実施（ご利用者参加、地域交流） ・フードパントリー実施（地域資源、地域交流） ・令和6年度につながった施設、関係者に挨拶文を送る（地域交流） ・「こまぱくフェスティバル」に職員、ご利用者で参加し、自主製品の販売を実施（ご利用者参加、地域資源、地域交流） ・こまほっとで近隣住民と消防署の方におこしいただき消防セミナーを開催（地域資源、地域交流） ・狛江市内の就労継続支援B型施設で製造しているジャム、パウンドケーキをこまほっとで販売（地域資源、地域交流） ・「カフェ大好き（調布市）」でポンテご利用者が製造している自主製品の常設展示販売開始（ご利用者参加、地域資源、地域交流）
2 月	第11回ランドマークチーム 会議 ・法人ホームページ記事掲載（チームさくら） ・子ども食堂（チームさくら） ・フードパントリー（チームさくら） ・近隣生活介護事業所製品のチラシ設置（チームみずき） ・近隣幼稚園のチラシ設置（チームみずき）	・各拠点の地域活動報告、法人ホームページ記事確認、外部実践報告確認、活動記録表確認 ・「谷在家さくらマルシェ」、リブインさくら餅つき紹介記事を掲載 ・子ども食堂実施（地域資源、地域交流） ・フードパントリー実施（地域資源、地域交流） ・むさし結いの家（生活介護事業所）で製造しているクッキーのチラシ兼注文書をcafé at で設置（地域資源、地域交流） ・ひまわり幼稚園で開催されるマルシェ、子育て広場のチラシをcafé at で設置（地域資源、地域交流）

	・近隣住民による教室開催（チームみずき） ・画家さんからの寄付（チームみずき） ・近隣特別支援学校中学部作品へのお礼（チームみずき） ・地域便りの配達活動（チームみずき）★毎月実施	・近隣住民による生け花教室を café at で開催（地域交流、地域資源） ・café at へ画家の川和様（※café at のお客様ですが、お名前、作品の記載および掲載についてご承諾いただく）から絵本の寄付をいただき、喫茶、展示スペースで展示（地域資源、地域交流） ・けやきの森学園中学部生徒作品をいただいたお礼に、café at から寄せ書きを作成し送る（地域交流） ・ポンテご利用者による地域便り「こまえくぼ」を各事業所、公民館への配達活動実施（ご利用者参加、地域交流）
3月	第12回ランドマークチーム会議 ・法人ホームページ記事掲載（チームみずき） ・谷在家さくらマルシェ（チームさくら） ・子ども食堂（チームさくら） ・フードパントリー（チームさくら） ・谷在家保育園来施（チームさくら） ・リブインさくら桜まつり開催（チームさくら） ・移動販売業者の拡充（チームさくら） ・地域の絆づくりイベント（チームさくら） ・café at 展示販売スペース改装（チームみずき） ・近隣特別支援学校イベントに参加（チームみずき） ・市内美術館イベントパンフレットの設置（チームみずき） ・障がい児職場体験（チームみずき） ・「ここプロほこみちアート展」参加（チームこまえ） ・ご利用者作品展開催（チームこまえ）	・各拠点の地域活動報告、法人ホームページ記事確認 外部実践報告確認、活動記録表確認、令和7年度事業計画 ・画家の川和様（※café at のお客様ですが、お名前、作品の記載および掲載についてご承諾いただいています）からの絵本寄付についての紹介記事を掲載 ・谷在家さくらマルシェ+釣りゲーム、輪投げゲーム実施（ご利用者参加、地域交流） ・子ども食堂実施（地域資源、地域交流） ・フードパントリー実施（地域資源、地域交流） ・谷在家保育園園児がさくらに来施し「お遊戯、合奏」を披露（ご利用者参加、地域交流） ・リブインさくらで、桜の花見スペースを確保し、近隣住民に向けて開放（ご利用者参加、地域資源、地域交流） ・リブインさくらで定期的に行っている移動販売業者が3月から2社増える（カフェノトリコ※シフォンケーキ、with※おにぎり）（地域資源、地域交流） ・KITクラブ21フレンドリーウォークにリブインさくらご利用者、職員が参加（地域交流） ・café at 展示販売スペースに、丸テーブルを設置し、さまざまなお客様がご利用しやすいよう、改装を行う（地域資源、地域交流） ・けやきの森学園太鼓部演奏会にご利用者、職員で参加し、令和7年度のみずきまつりへの参加依頼をする（地域交流） ・café at で府中美術館のイベントパンフレットの設置（地域資源、地域交流）

		・café at 障がい児職場体験実施（地域交流） ・「ここプロほこみち（駅前の通り）アート展」にご利用者、職員で参加し、作品展示や販売を実施（ご利用者参加、地域資源、地域交流） ・こまほっとでこまえ工房ご利用者の作品展を開催（ご利用者の参加、地域資源、地域交流）
--	--	--

（２）特記事項 特になし

【情報戦略チーム／情報マーケティング部】

1. 重点目標に対する評価

（１）各拠点およびビジョンチームの発信回数を定め、毎月情報発信状況について確認と調整を行い、動きのあるホームページを目指します。

事業計画で掲げた内容	実施状況
①各拠点に編集長を設け、それを取りまとめる総編集長を定めます。 ②ホームページの管理と調整は総編集長が中心となり行います。 ③総編集長の取りまとめのもと、情報戦略チームの取り組み内容を各拠点の編集長がそれぞれの広報会議で共有します。 ④ビジョン特設ページについて、総編集長が各ビジョンチームからあがった写真と記事を最終確認して、ホームページで発信します。	①年度初めに決定した編集長および総編集長（ディレクター）体制を、年間とおして維持しました。 ②ホームページ内では、施設紹介の記事の更新、各拠点の活動報告、リブインさくらの記事の転載等を行いました。また、情報公開ページの運用方法を変更し、事業所ごとの情報開示から法人本部による一元的な情報開示へとひろげました。さらに採用専用サイトのオープンにともない、採用情報は専用サイトへのリンクへと変更しました。 ③情報戦略チームの取り組み内容は、各拠点の広報委員会においてチームメンバーから共有しました。 ④記事進捗スケジュール表を活用し、VISION2028の各チーム・セクションから提出された記事を計画的に管理・発信しました。
通期評価	今後に向けて
各拠点と VISION2028 について、編集長の設置や記事発信までの流れの整理、VISION2028 記事発信に関する記事進捗スケジュール表の作成などを行い、ホームページにおける活動報告を、途切れることなく実施することができました。ホームページ上の活動報告以外の部分については、掲載情報を見直し、更新しました。グループホームえだまめ開設にとも	定期的な活動報告の発信は継続できています。この流れを維持しながら、次年度は発信内容を検討するためのふりかえりの時間を設けていきたいと考えています。また、SNS（Instagram）による発信も行われてきているため、その連携をすすめることも課題のひとつとなり

なう求人案内や、採用専用サイトの開設にともなうリンク設定なども行いました。動きのあるホームページにするための取り組みとして、活動報告による絶え間ない更新と、ホームページ掲載情報の適宜見直しをおこない、年間をとおして実施できました。	ます。少しでも戦略的に発信できる体制をつくることを目指していきます。
--	---

(2) SNSにて情報発信する回数を増やします。

事業計画で掲げた内容	実施状況
①情報戦略チーム内で担当を決め、担当が中心となりSNS発信をスムーズにできる体制やルールを整えます。 ②担当が中心になってそれぞれの拠点やVISION2028 チームでのSNS活用状況について報告しあい、SNSへの取り組みについて情報共有を行います。 ③SNSをして、それぞれで取り組んでいることを地域のひとや職員に知ってもらい、情報拡散してもらう取り組みをします。	①SNS担当者を定め、拠点ごとの広報会議をベースにSNS発信をすすめました。 ②定例会議内で拠点ごとのSNS発信内容を共有し、毎月のレビューを実施しました。 ③SNSを活用することで、各拠点の活動や行事、お知らせをタイムリーに発信しました。
通期評価	今後に向けて
令和6年度は、拠点ごとのSNS発信の体制や発信内容の違い、発信の有無や滞りを把握し、それぞれの特徴を理解・共有することに重点をおきました。一方で、拠点ごとに発信ルールが異なることや、リスク管理の線引き、チームとしての発信内容のレビューに関する課題など、情報戦略チームとして情報発信の戦略や管理において多くの改善点があることが明らかになりました。通期評価として、今年度はSNS発信の現状を正確に把握し、拠点ごとの運用の違いを整理できました。一方で、共通のルールや戦略的な発信体制の確立に向けては今後の改善が課題となります。令和7年度に向けて、より統一感のある運用をめざし、拠点間の連携を深めながら、戦略的なSNS発信の体制を構築していきます。	今後は、SNSの発信者が気軽に楽しく発信できる体制を整えつつ、リスク管理も同時に行えるルールづくりを速やかにすすめ、発信の稼働を促します。発信に対しては、情報戦略チームのメンバーだけでなく、他の多くの視点を含めたレビューを行い、戦略と管理の両面で実践できる体制を構築します。

(3)「Heart to Heart」を法人設立25周年の節目に発行します。

事業計画で掲げた内容	実施状況
①情報戦略チーム内に機関広報誌担当を決め、担当が中心となり機関広報誌の発行管理と活用方法の見直しを行います。 ②機関広報誌担当の管理のもと、情報戦略	①機関広報誌担当を決め、担当が中心となり発行に向け準備しました。法人を知らないひとにも、どうしたら興味をもってもらえるか検討しました。 ②各事業所の機関広報誌は、情報戦略チームクラ

チームクラウドの所定場所に各事業所が発行した広報誌を年度ごとに保管していきます。 ③機関広報誌担当が中心となり、広報誌に関心を持って見ていただくための取り組みを行います。 ④機関広報誌担当が中心となり、「Heart to Heart」機関広報誌の発行に向けて準備します。	ウド所定の場所に、事業所ごとに確認し保管しています。 ③機関広報誌担当が中心となり、法人全体の取り組みとして「VISION2028」をテーマに掲げ、サービス提供チーム・人財部・財務部・情報マーケティング部の組織体制で協力し、広報誌を作成しました。この広報誌では、法人の活動や目標を発信し、関係者に関心を持ってもらうことを目的として情報を提供しました。また、地域社会とのつながりに関する内容も盛り込み、地域との関係強化に努めました。 ④令和7年度 1/21「Heart to Heart」機関広報誌を発行しました。今回は、VISION2028活動内容と足立ブロックでの地域社会とのつながりの取り組みを掲載しました。デザイン会社として株式会社パットンファイヴ様を選定し、機関広報誌発行までのスケジュールを組み立て、テーマを決め、各担当の割り振りと原稿作成の依頼を行い、発行に向けて取り組みました。
通期評価	今後に向けて
機関広報誌担当を中心に発行準備を行い、法人を知らないひとにも興味をもってもらえるよう工夫しました。各事業所の機関広報誌は情報戦略チームのクラウド上で適切に管理され、確認と保管を統一的にすすめることができました。法人の取り組みを知らせることを目的とし、VISION2028活動内容や地域社会とのつながりを意識した構成としました。紙面の確認や修正には時間を要しましたが、発行までの過程をとおして、デザイン会社との連携、スケジュール管理、原稿作成依頼、紙面確認・修正といった一連の機関広報誌制作・発行における作業手順を整備することができました	次回より、機関広報誌「Heart to Heart」は年2回の発行となります。初刊に比べるとスケジュールがタイトになるため、発行に向けて計画的にスケジュールを立て、情報戦略チームメンバーと協力しながら作成に取り組みます。デザイン会社には依頼せず、PDF編集ソフトを活用して機関広報誌の発行をすすめます。皆さんに、もっと機関広報誌の内容を理解してもらえるように、必要に応じて記事の書き方や見出しのルールを見直していきます。また、法人内で使う言葉を統一することで、全体的に分かりやすく、読みやすい機関広報誌を目指します。

(4) 毎年度個人情報使用承諾を確認し、また著作権に配慮した情報の発信を行います。

事業計画で掲げた内容	実施状況
①情報戦略チーム内に担当を決め、担当が中心となり進捗状況の確認や管理方法などの見直しを適時行います。	①各拠点の進捗状況を定期的に確認し、必要に応じて管理方法の見直しをおこないました。9月と3月には情報戦略チームが中心となり、各拠点

②法人共通書式による個人情報の使用意向の確認を、ご利用者について書面にて毎年度行います。ご利用者の同意のもと、行事やイベントの画像などを広報に活用させていただきます。 ③職員の個人情報については入職時に使用意向を確認し、必要な配慮のもと、広報に使用していきます。 ④上記②③の同意状況について、各事業所で把握していきます。 ⑤広報で用いるイラストなどについて著作権に留意した情報発信が適切に行えるよう、各拠点の担当部署へ情報戦略チームメンバーが適時説明していきます。	の状況を把握しました。次年度より活用する新しい書式について、3月に見直しを行い、適用準備をすすめました。 ②法人共通書式を活用し、毎年度、ご利用者の個人情報使用意向を書面で確認しました。承認を得た写真・動画は広報活動に活用しました。 「機関広報誌、ホームページ、SNS」の項目について、たとえばホームページでの使用は承認するがSNSでの使用は承認しないなどの要望があった場合、細かい管理が難しいため、「機関広報誌、ホームページ、SNS」の全項目が承認されなかったものとして対応を統一しました。この方針を全拠点へ共有し、運用の統一をはかりました。 ③入職時に職員の個人情報使用意向を確認し、広報活用時には適切な配慮をおこないました。特別な注意が必要な場合は、管理職層のみが情報を把握する形で対応しました。 ④ご利用者・職員の同意状況を各拠点で管理し、必要に応じて対応方針を統一しました。 ⑤広報で使用するイラストは、株式会社インプレスのイラスト集に統一し、各拠点で適切に選定しました。情報戦略チームメンバーが各拠点の担当部署へ著作権について適時説明をおこない、適切な運用を支援しました。
通期評価	今後に向けて
各拠点の進捗確認や管理方法の見直しを行い、次年度に向けた書式の調整をすすめました。個人情報の管理では、ご利用者・職員の使用意向を確認し、広報活用時に適切な対応を行いました。「機関広報誌、ホームページ、SNS」の管理方針を統一し、全拠点の運用を統一しました。広報で使用するイラストは株式会社インプレスのイラスト集に統一し、著作権管理を徹底しました。これらの取り組みをとおり、情報管理の円滑化と広報活動の安定化をすすめることができました。	今後も、個人情報の管理や著作権配慮の取り組みを継続し、安定した運用を維持します。各拠点での進捗確認を行い、円滑な情報共有を促進します。また、令和7年度の新書式導入に向け準備をします。 ご利用者の個人情報使用意向の確認は統一对応を継続し、職員の個人情報管理も適切な配慮を維持します。各拠点の管理体制を整え、事業所間の情報連携を円滑に進めていきます。広報活動では、著作権管理を徹底するため、インプレス社のイラスト集を活用し、適切な情報発信を進めます。今後も安定した運用を継続し、効率的な管理を進めていきます。

(5) 情報戦略チームにディレクターを決め、全ての取り組み状況を管理します。

事業計画で掲げた内容	実施状況
①情報戦略チームリーダーがディレクターを担い、総合的な統括を行います。	①ディレクターは会議を進行し、今後の方向性や決定事項を示しました。情報発信するうえで、内容、ルール、リスクマネジメント、コンプライアンスを意識させる声かけを行い、担当職員の負担を考慮しました。進捗は月一回の会議および会議前の事前確認や都度の電話、クラウドにて共有いたしました。チーム連携のため、会議やクラウドを活用いたしました。ホームページ管理を委託している未分離デザイン研究所様に毎回会議に参加していただき、逐次アドバイスを受けながら、最終決定はディレクターが行いました。機関広報誌はVISION2028の理念に基づき方針を示し、デザイン決定にかかわりました。個人情報使用承諾書については、統一用語に基づき見直しを行いました。ホームページやSNSの戦略は現状分析を行うも具体的な戦略策定まで取り組むことができませんでした。全体として、ディレクターは進捗把握・調整に努めましたが、ホームページやSNSの戦略策定においては主導性を十分に発揮できませんでした。
通期評価	今後に向けて
機関広報誌のデザイン選定および個人情報使用承諾書の統一用語に基づいた文章見直し完了は成果です。ディレクターが関係部署との連携を積極的に図りました。ホームページやSNSの戦略は具体的な進展なく、戦略立て、実行にすすめることができなかったことが課題です。ディレクター制は、会議運営や情報共有において一定の役割を果たしましたが、情報戦略全体を十分に引っ張っていくには至らず、既存の情報発信手段をより効果的に使うことが課題です。	ホームページやSNSの戦略については、未分離デザイン研究所様にも相談しながら、具体的な目標とそれに向けた取り組みを考え、実行にすすめていきます。チームメンバーそれぞれのスキルアップを図り、情報発信をよりひろげていきます。ディレクターは、チームメンバーの意見を尊重し、それぞれの力を最大限に活かせるよう役割分担を行います。会議や都度のやり取りをとおして連携を深め、情報戦略全体をすすめていきます。ディレクターの役割と責任を明確にし、関係部署との連携も強化していきます。

2. 活動報告

(1) 実施状況

日付	活動（会議）名	内容
4/16	機関広報誌打ち合わせ	令和7年度1/21に発行のためのスケジュール作成
4/18	第1回 情報戦略チーム会議	自己紹介、事業報告すり合わせ、法人全体/VISION2028 情報マーケティング部報告、ホームページサイト状況確認、SNS情報発信状況確認、機関広報誌「Heart to Heart」リニューアル発行への取り組み
4/20	機関広報誌打ち合わせ	ページ数の確認、記事内容の確認、発行回数の確認
5/16	第2回 情報戦略チーム会議	法人全体/VISION2028 情報マーケティング部報告・ホームページサイト状況確認（スライド記事状況、VISION2028 チーム記事進捗状況確認、今年度特設ページ編集長体制の見直し、各拠点ホームページ内容確認）、SNS情報発信状況確認（現在あるSNSについて把握）、情報戦略チームとしてのSNSを使った戦略検討、機関広報誌「Heart to Heart」リニューアル発行への取り組み
6/18	機関広報誌打ち合わせ	ページ構成の確認、業者選定
6/20	第3回 情報戦略チーム会議	法人全体/VISION2028 情報マーケティング部報告、ホームページサイト状況確認（スライド記事状況・VISION2028 チーム記事進捗状況更新・トップページの写真の選定・各拠点ホームページ内容確認）、SNS情報発信状況確認（現在あるSNSについて把握）、情報戦略チームとしてのSNSを使った戦略検討、機関広報誌「Heart to Heart」リニューアル発行への取り組み
7/10	機関広報誌打ち合わせ	デザイン会社と印刷会社が決定
7/12	第4回 情報戦略チーム会議	法人全体/VISION2028 情報マーケティング部報告・ホームページサイト状況確認（スライド記事状況・VISION2028 チーム記事進捗状況確認・各拠点ホームページ内容確認・縦写真活用方法の見直し）、SNS情報発信状況確認（現在あるSNSについて把握）、情報戦略チームとしてのSNSを使った戦略検討、SNSの目的を言語化の検討、機関広報誌「Heart to Heart」リニューアル発行への取り組み
8/2	機関広報誌打ち合わせ	パットンファイヴ様と打ち合わせ・スケジュール確認
8/15	第5回 情報戦略チーム会議	法人全体/VISION2028 情報マーケティング部報告、ホームページサイト状況確認（スライド記事状況・VISION2028 チーム記事進捗状況確認・各拠点ホー

		ムページ内容確認・トップページ写真選定最終確認・えだまめ写真更新)、SNS情報発信状況確認(現在あるSNSについて把握)、情報戦略チームとしてのSNSを使った戦略検討、動画管理方法について検討)、機関広報誌「Heart to Heart」リニューアル発行への取り組み(ルビの確認・依頼する原稿文字数確認・写真枚数の確認・デザインイメージのすり合わせ・記事依頼するフォーマット確認)
9/19	第6回 情報戦略チーム会議	法人全体/VISION2028 情報マーケティング部報告、ホームページサイト状況確認(スライド記事状況・VISION2028 チーム記事進捗状況確認・今年度特設ページ編集長体制の見直し・各拠点ホームページ内容確認・えだまめ写真更新確認)、SNS情報発信状況確認(現在あるSNSについて把握)、情報戦略チームとしてのSNSを使った戦略検討、YouTube管理や動画管理方法について検討)、機関広報誌「Heart to Heart」リニューアル発行への取り組み、個人情報使用承諾進捗確認
10/17	第7回 情報戦略チーム会議	法人全体/VISION2028 情報マーケティング部報告、ホームページサイト状況確認(スライド記事状況・VISION2028 チーム記事進捗状況確認・各拠点ホームページ内容確認・SNS情報発信状況確認(現在あるSNSについて把握))、情報戦略チームとしてのSNSを使った戦略検討、機関広報誌「Heart to Heart」リニューアル発行への取り組み
11/21	第8回 情報戦略チーム会議	法人全体/VISION2028 情報マーケティング部報告、ホームページサイト状況確認(スライド記事状況・VISION2028 チーム記事進捗状況確認・各拠点ホームページ内容確認・法人情報公開の進展確認・えだまめページの新着状況の確認・SNS情報発信状況確認(現在あるSNSについて把握))、情報戦略チームとしてのSNSを使った戦略検討、機関広報誌「Heart to Heart」リニューアル発行への取り組み
12/18	第9回 情報戦略チーム会議	法人全体/VISION2028 情報マーケティング部報告、ホームページサイト状況確認(スライド記事状況・VISION2028 チーム記事進捗状況確認・各拠点ホームページ内容確認・SNS情報発信状況確認(現在あるSNSについて把握))、情報戦略チームとしてのSNSを使った戦略検討、機関広報誌「Heart to Heart」リニューアル発行への取り組み

1/16	第10回 情報戦略チーム会議	法人全体/VISION2028 情報マーケティング部報告、ホームページサイト状況確認（スライド記事状況・VISION2028 チーム記事進捗状況確認・各拠点ホームページ内容確認・SNS情報発信状況確認（現在あるSNSについて把握）、SNSと法人ホームページの情報発信の違いの意見交換、機関広報誌「Heart to Heart」リニューアル発行チラシの確認
2/20	第11回 情報戦略チーム会議	法人全体/VISION2028 情報マーケティング部報告、ホームページサイト状況確認（スライド記事状況・VISION2028 チーム記事進捗状況確認・各拠点ホームページ内容確認、SNS情報発信状況確認（現在あるSNSについて把握）、情報発信方法の検討（リスクマネジメントやコンプライアンスと情報発信の楽しさの両立）、機関広報誌「Heart to Heart」次回以降の調整
3/20	第12回 情報戦略チーム会議	法人全体/VISION2028 情報マーケティング部報告、ホームページサイト状況確認（スライド記事状況・VISION2028 チーム記事進捗状況確認・各拠点ホームページ内容確認・SNS情報発信状況確認（現在あるSNSについて把握）、機関広報誌「Heart to Heart」次回以降の調整

（2）特記事項

特になし